

山口県立美術館年報

平成21~22年

ANNUAL REPORT

2009 ~ 2010

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM

山口県立美術館年報

平成21~22年

ANNUAL REPORT

2009 ~ 2010

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM

目 次

山口県立美術館概要	4
1) 事業	5
I 展覧会事業	
(1) 特別展	6
(2) コレクション展	19
II 教育普及事業	
(1) HEART	44
(2) 山口県美術展覧会	48
(3) 美術館ニュース「天花」	52
(4) 博物館実習	53
(5) 美術館ボランティア	54
(6) 美術館学校地域連携推進事業	56
(7) その他の事業	60
III 調査研究事業	
雪舟研究会	62
IV 収集事業	
(1) 館蔵品貸出利用状況	66
(2) コレクション	68
(3) 山口県立萩美術館・浦上記念館への陶芸作品の移管	72
(4) 美術図書	73
2) 入館者数一覧	75
3) 組織等	79

山口県立美術館概要

所在地	山口市亀山町3番1号
敷地面積	11,618.330平方メートル
建物概要	構造 鉄筋コンクリート造／地下1階・地上2階／一部鉄骨造 建物面積 4,077.168平方メートル 建物延面積 5,477.880平方メートル
工期	1977（昭和52）年8月～1979（昭和54）年3月
設計	鬼頭梓建築設計事務所
施工	鹿島建設株式会社／日本電設工業株式会社／株式会社大気社／塩田工業株式会社
総工費	17億円

展覧会事業

常設展

館蔵品を通じて本県の美術文化の歴史や郷土が生んだ代表的作家の全貌、郷土の風土と生活のなかに育まれた代表的な工芸などをわかりやすく常設展示する。

企画展

館の調査研究にもとづき、テーマを設定し、内外のすぐれた作品を借用するなどしてユニークな自主企画展示をする。

その他の展示

新聞社や他館との共催展や美術団体展などすぐれた内容の展覧会を誘致し公開する。

教育普及事業

公募展等

県美術展覧会などの公募展を開催し、県民に作品創作の場を提供する。

講演会・講座

実技講座、美術講座、美術講演会などを実施し、県民が美術への理解を深める場を提供する。

ボランティア

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設け、ボランティアの知識や経験を生かした活動を通じて県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

美術館学校連携

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及をはかる。

調査研究および収集事業

本県の美術に関する調査研究を実施し、基礎資料や作品の収集を充実させるとともに、これを保管整理し有効な活用をはかる。

事業

I. 展覧会事業

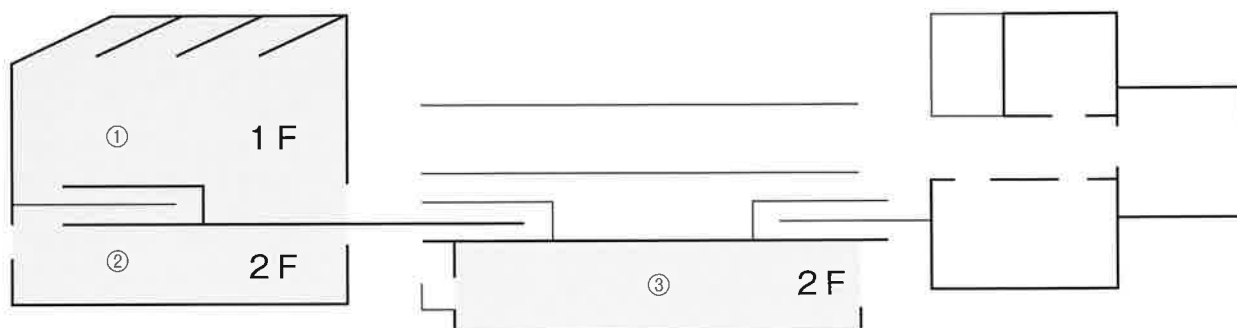
(1) 特別展

当館では、館主催による大型企画展ではおもに個人作家展やテーマ展などを、小型企画展では現代美術をそれぞれ取り上げてきた。会場は原則的には企画展示室Ⅰ・Ⅱ（①・②）の2室を使用してきたが、近年は展覧会規模の大型化にともない、この2室に加え常設展示室Ⅱ（③）をこの延長スペースに使う状況が定着してきている。

いわゆる共催展は、新聞社等の企画による巡回展が主なものであった。原則として年に2～3本程度開催してきた。展示室は原則的には企画展示室Ⅰ・Ⅱ（①・②）を使用しているが、自主企画展と同様に近年では展覧会規模の大型化により共催展についてもその延長スペースとして常設展示室Ⅱ（③）を併用するケースが多い。

近年では、新聞社等との共同出資による実行委員会方式の共催展が主流になるとともに、共催展そのものに当館の学芸スタッフが参画するケースが増えている。さらに、当館単独で開催される大型企画展も実行委員会方式で運営されるようになる傾向にあるため、企画展、共催展は区別せず特別展として扱っている。

なお、展示案内と美術館ニュース「天花」での展示室表記は、平成20年度より、企画展示室Ⅰを展示室D、企画展示室Ⅱを展示室C、常設展示室Ⅱを展示室Bとしている。



企画展示室Ⅰ	①	583.298㎡
企画展示室Ⅱ	②	304.695㎡
常設展示室Ⅱ	③	471.825㎡

* 凡例

以下の展覧会は名称（会期・主催等）・(1) 趣旨・(2)会場構成・(3)カタログ・(4)出品作品リスト・(5)講演会等の順で編集した。

山口県立美術館開館30周年記念 tysテレビ山口開局40周年記念 大ナポレオン展－文化の光彩と精神の遺産

2009（平成21）年8月5日(水)～9月13日(日) 月曜日休館

主 催 大ナポレオン展実行委員会（山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口）

企画協力 東京富士美術館

特別協賛 エルクホームズ株式会社

特別協力 エフエム山口

会 場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ、常設展示室Ⅱ



チラシ

ポスター

(1) 趣旨

山口県立美術館開館30周年、tysテレビ山口開局40周年を記念して開催された本展は、フランスの軍事的指導者、政治家として世界に名高いナポレオン・ボナパルト（1769-1821）の幅広い文化性に焦点を当て、同時代の絵画、彫刻、工芸、ジュエリーなどを展示したものである。

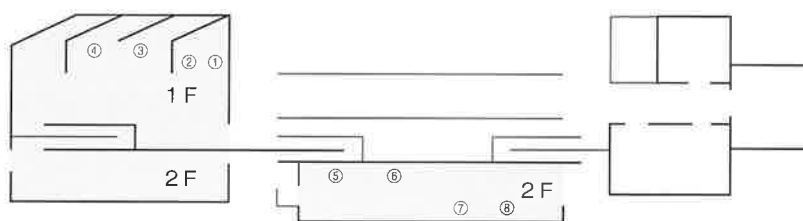
ナポレオンの時代には新古典主義やアンピール様式といった新しい美術の様式が流行する。それらは絵画や彫刻のみならず、建築、室内装飾、家具にも取り入れられ、美しい品々が数多く制作された。この時期の美術・工芸を当館で紹介する機会はこれまであまりなかったためか、来館者の多くが、見慣れた19世紀後半のフランス近代美術とはだいぶ趣が異なる品々を興味深そうに鑑賞していた。

ナポレオンに関する様々な作品を彼の生涯の歩みにそって紹介した本展は、19世紀初頭のフランス文化・芸術の飛躍的發展に大きく寄与したナポレオンの役割を考える絶好の機会となった。

なお会期直前の7月下旬、中国・九州北部豪雨による災害が発生。国道262号線が山口・防府間で数ヶ月通行止めとなった。

(2) 会場構成

- ①0歳 コルシカ島
- ②19歳 フランス革命
- ③30歳 第一執政ボナパルト
- ④35歳 戴冠式
- ⑤39歳 スペイン戦争
- ⑥42歳 2人の皇后とローマ王誕生
- ⑦46歳 2度目の退位とセント＝ヘレナ
- ⑧没後19年 パリ凱旋



(3) カタログ

編集・発行 東京富士美術館

内 容

主催者あいさつ

ナポレオンと美術 鈴木杜幾子（明治学院大学教授）

ナポレオンの生涯とロマン 野口満成（東京富士美術館館長）

カタログ

絵画 (cat.1-22)

彫刻 (cat.23-32)



カタログ

工芸 (cat.33-60)

書籍・書簡 (cat.61-68)

作家解説

人物解説

事項解説

ボナパルト一族の家系図

関連年表

地図

*210×210mm 125ページ

(4) 出品目録

No	カテゴリー	作品名	作者	制作年不詳	技法・素材	寸法 (cm)	所蔵先
0歳		コルシカ島					
1	24	右手に本をもって座るレティツィアの肖像	アントワヌ・ジャン・グロの絵画による	19世紀	大理石	43.0×26.0×64.0	個人蔵
2	23	若きナポレオン像	ルイ・ロシェの作品に基づく	制作年不詳	ブロンズ	23.5×23.5×76.8	東京富士美術館
19歳		フランス革命					
3	1	聖霊騎士団長の衣装のルイ16世の肖像	アントワヌ＝フランソワ・カレ	1786年	油彩、カンヴァス	146.0×100.0	個人蔵
4	2	フランス王妃マリー＝アントワネットの肖像	エリザベート＝ルイーゼ・ヴィージェール プラン	18世紀	油彩、カンヴァス	92.3×73.7	東京富士美術館
5	25	青年ボナパルトの胸像	シャルル＝ルイ・コルベ	1798年	石膏、着色	32.5×40.5×57.0	東京富士美術館
6	61	イタリア方面軍総司令官当時のナポレオンの直筆書簡		1797年5月30日	インク、紙	35.7×23.1	東京富士美術館
7	62	イタリアの信教の自由を支持するナポレオン直筆書簡		1797年	インク、紙	47.0×38.5	創価大学
8	26	将軍ボナパルトの騎馬像	アントワヌ＝ルイ・バリール	1847年	ブロンズ	12.5×25.5×36.0	個人蔵
9	6	エジプト誌		1822年	エッチング、紙		個人蔵
10	4	エジプト遠征中のナポレオン	ロバート・アレキサンダー・ヒリング フォード	19世紀	油彩、カンヴァス	49.5×75.0	個人蔵
11	5	タボル山の戦い	ジャック＝フランソワ・スヴェバック	1812年	油彩、カンヴァス	115.0×200.5	東京富士美術館
30歳		第一執政ボナパルト					
12	3	第一執政ボナパルト	アントワヌ＝ジャン・グロ	1800-1804年頃	油彩、カンヴァス	231.0×158.0	東京富士美術館
13	7	サン＝ベルナル峠を越えるボナパルト	ジャック＝ルイ・ダヴィッドの作品による	1805年	油彩、カンヴァス	73.5×59.0	東京富士美術館
14	28	第一執政ボナパルトの胸像	ルイ＝シモン・ボワゾン	19世紀初期	大理石	23.7×37.7×60.5	個人蔵
35歳		戴冠式					
15	8	皇帝ナポレオン1世と皇后ジョゼフィーヌの戴冠式	ジャック＝ノエル＝マリー・フレミー (ダヴィッドの作品による)	19世紀	油彩、カンヴァス	25.0×35.0	東京富士美術館
16	9	戴冠式の皇帝ナポレオン	ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房	1808年	油彩、カンヴァス	69.8×50.8	東京富士美術館
17	10	戴冠衣装の皇帝ナポレオンの肖像	アンヌ＝ルイ・ジロデ＝トリオンと工房	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	86.4×70.5	東京富士美術館
18	11	皇帝ナポレオンの肖像	フランソワ・ジェラルドの工房	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	80.5×65.0	東京富士美術館
19	17	皇帝ナポレオン	ロベール・ルフェュブル	19世紀前半	油彩、カンヴァス	65.0×54.5	東京富士美術館
20	30	皇帝ナポレオンの胸像	アントニオ・カノーヴァの工房	19世紀	ブロンズ	20.5×20.0×39.0	個人蔵
21	57	ナポレオンのインタリオ・ブローチ	グラフィス&ウエイゴール	1825年頃	カーネリアン製インタリオ、ルビー、エメラルド、サファイア、ラピス・ラズリ、アメシスト		東京富士美術館
22	58	ジョージ4世インタリオ・ペンダント		1820年頃	金、カーネリアン製インタリオ		東京富士美術館
23	59	ウエリントン公爵のインタリオ・ペンダント		1820年頃	金、カーネリアン製インタリオ		東京富士美術館
24		ナポレオンのカメオ付きスナッフボックス					
25	60	ロシア皇室のハット・ピン		1769年	銀、ダイヤモンド、サファイア		東京富士美術館
26		エメラルド、ダイヤモンドのネックレス・イヤリングセット					
27		ダイヤモンドフラワーブローチ					
28		ケレスのティアラ		1820年頃	金、銀、ダイヤモンド		
29		トパーズのパリュール					
30	16	貴婦人の肖像	フランソワ＝アンリ・ミュラー	1810年頃	油彩、カンヴァス	112.5×70.3	東京富士美術館
31	29	ナポレオンの胸像	ジャン＝アントワヌ・ウードンの作品に基づく	19世紀	テラコッタ	46.0×27.0×67.0	東京富士美術館
32	40	旅行用サービスセット		19世紀初頭	銀に金メッキ、ガラス	93.0×63.0×43.0	個人蔵
33	41	燈台型センターピース	ピエール＝フィリップ・トミール	19世紀	ブロンズに金メッキ	68.0×45.0	東京富士美術館
34	42	ナポレオンが妹ボリーヌに贈ったティーポット	シャルル＝ニコラ・オディオ	19世紀初頭	銀に金メッキ	16.5×26.0×16.0	個人蔵
35	43	帝政様式のセンターピース		19世紀	ブロンズに金メッキ、鍍	62.0×168.0×21.0	個人蔵
36	44	皇帝ナポレオンのティーセット	アンリ・オーギュスト	19世紀初頭	銀に金メッキ		個人蔵
37	45	「エジプトからの帰還」と呼ばれる食器セットとセンターピース	セブル寮	19世紀のオリジナルにもとづく再現	磁器		個人蔵
38	46	振り子時計「オデュッセイア」		1795-99年頃	ブロンズに金メッキ、鉄、大理石	25.5×14.5×50.0	個人蔵
39	47	ウーディノ元帥所有の置き時計「ホラティウス兄弟の誓い」	"クロード・ガレ、リュシアン＝フランソワ・フシェール"	1815年頃	ブロンズに金メッキ、大理石	19.0×57.5×62.0	東京富士美術館
40	48	皇后ジョゼフィーヌゆかりの振り子時計「眠れぬ夜」	ピエール＝フィリップ・トミール	1809年	ブロンズに金メッキ、大理石	35.0×22.0×41.0	個人蔵
41		ナポレオン法典 (英訳版)		1811年	装丁本	22.8×14.5×3.3	東京富士美術館

42	49	レジオン・ド・ヌール勲章		1804-06年	銀に金メッキ、七宝、絹	4.6 (径)	東京富士美術館
43	50	ナポレオンのベッドを飾った孔雀の装飾		1805年頃	木に金メッキ	41.0×50.0	個人蔵
44	51	第一帝政期の第81歩兵連隊の鷲の旗飾り		1804年	ブロンズに金メッキ	23.0×46.6×70.0	個人蔵
45	52	鷲の装飾		19世紀初頭	木に金メッキ	58.0×28.8×36.0	個人蔵
46	53	胸甲騎兵舞台の胴鎧		19世紀	はがね、真鍮	13.5×36.0×40.0	東京富士美術館
47	54	ナポレオン軍の将校が所有していたラクダ用の鞍		1798年頃	木、鉄、ブロンズ	132.0×43.0×36.0	個人蔵
48	55	帝国近衛連隊騎兵用の吊り鞆		18世紀末-19世紀初頭	牛革、ウールの刺繍、ブロンズ	36.0×29.5	東京富士美術館
49	56	鷲の紋章のあるタペストリー	オーピュッソン製	1805年頃	布	76.2×61.0	個人蔵
50		「戴冠式の記録」チュイルリー宮殿を出発する皇帝と皇后	フランソワ・デクボリエ (イザベイトフォンテヌスの作品による)	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、紙	45.0×51.1	東京富士美術館
51		「戴冠式の記録」ノートルダム寺院への皇室馬車の到着	ジャン＝パティスト・デュプレル (イザベイトフォンテヌスの作品による)	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、紙	45.0×51.1	東京富士美術館
52		「戴冠式の記録」盛装の皇帝ナポレオン	ビエール＝アレクサンドル・タルデュール、ジョルジュ＝マルベスト、ジャン＝パティスト・デュプレール	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
53		「戴冠式の記録」盛装の皇后ジョゼフィーヌ	ビエール・オドワン (イザベイトフォンテヌスの作品による)	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
54		「戴冠式の記録」教皇ピウス7世	ルイ・ジャック・プティ (イザベイトフォンテヌスの作品による)	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
55		「戴冠式の記録」軽騎兵大将	ルイ・ボーケ	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
56		「戴冠式の記録」胸甲騎兵大将	ルイ・ボーケ	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
57		「戴冠式の記録」狐騎兵大将	ルイ・ボーケ	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
58		「戴冠式の記録」主席紋章官	マッサール・ウルバン (イザベイトフォンテヌスの作品による)	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
59		「戴冠式の記録」竜騎兵大将	フランソワ・ビジョー	19世紀彫板、1987年後摺	エッチング、ビュラン、着色、紙	45.0×24.0	東京富士美術館
60		ティーサーブセット	デロッシュの工房	19世紀前半	磁器		個人蔵
39歳		スペイン戦争					
61		「戦争の惨禍」15番:もう助かる道はない	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、パーニッシュャー、ドライポイント、ビュラン	15.5×20.5	東京富士美術館
62		「戦争の惨禍」41番:炎をくぐって逃げる	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、ビュラン	15.5×20.5	東京富士美術館
63		「戦争の惨禍」43番:これもそうだ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、アクアチント、パーニッシュャー	15.5×20.5	東京富士美術館
64		「戦争の惨禍」44番:私は見た	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、ドライポイント、ビュラン	15.5×20.5	東京富士美術館
65		「戦争の惨禍」45番:そしてこれも見た	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、アクアチントまたはラヴィ、ドライポイント、ビュラン	15.5×20.5	東京富士美術館
66		「戦争の惨禍」67番:これも負けず劣らずだ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、アクアチント、パーニッシュャー、(ラヴィ) ビュラン	15.5×20.5	東京富士美術館
67		「戦争の惨禍」76番:人食い禿鷹	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、ラヴィ、ドライポイント、ビュラン、パーニッシュャー	15.5×20.5	東京富士美術館
68		「戦争の惨禍」78番:見事な防戦だ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、パーニッシュャー、アクアチント、ドライポイント	15.5×20.5	東京富士美術館
69		「戦争の惨禍」79番:真理は死んだ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1892年 (第2版)	エッチング、ドライポイント (?)、ビュラン、パーニッシュャー	15.5×20.5	東京富士美術館
70	12	ジョゼフ・ボナパルトの肖像	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	1811年頃	油彩、カンヴァス	210.0×145.0	東京富士美術館
42歳		2人の皇后とローマ王誕生					
71	22	ローマ王の肖像	マリー＝フランソワ＝コンスタンヌ・メイエル	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	48.0×38.0	個人蔵
72	63	内務大臣に宛てた皇后ジョゼフィーヌの署名入り直筆書簡		1811年4月23日	インク、紙	23.4×18.8	東京富士美術館
73	64	ワチエール将軍と女官の結婚契約書		1812年1月20日/21日	インク、紙、モロッコ革装丁	34.0×25.0×1.5	東京富士美術館
74		皇帝ナポレオンの帽子	ブパール	1814年頃	ビーバーの皮	23.0×47.0×23.6	個人蔵
75		ベートーヴェン	アルベール＝エルネスト・カリエ＝ベルルス	19世紀	テラコッタ	19.2×29.0×43.0	東京富士美術館
76	65	若きウェルテルの悩み (ナポレオン蔵書)		19世紀初頭	装丁本	20.6×13.4×3.2	東京富士美術館
77	18	月光と蠟燭の灯火で手紙を読む皇帝ナポレオン	ピエトロ・ベンヴェヌーティ	1810年	油彩、カンヴァス	120.0×96.3	東京富士美術館
78	19	ルーブル宮でアテナ像の前に立つナポレオン	アンドレア・アッピアニ	1814年頃	油彩、カンヴァス	211.5×131.0	東京富士美術館
79	13	ミュラ元帥の肖像(「イエナの戦い」部分)	エミール・ジャン＝オラース・ヴェルネ	19世紀前半	油彩、カンヴァス	116.8×90.2	個人蔵
80	14	ネイ元帥の肖像	フランソワ＝ジョゼフ・キンソンに帰属	19世紀前半	油彩、カンヴァス	72.5×58.0	個人蔵
81	15	ナント侯アントワース・フランセ伯爵の肖像	ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房	1811年頃	油彩、カンヴァス	116.0×76.5	東京富士美術館
82	33	「エジプトからの掃蕩」と呼ばれる粧いを凝らした寝台	ジャコブ兄弟	1796-1803年	マホガニー、絹	97.0×192.0×176.0	個人蔵
83	34	折りたたみ式の遠征用ベッド	デズッッシュ	1813年	鉄、真鍮	190.0×90.0×198.0	個人蔵
84	35	古代風の椅子	シャルル・ベルシエのデザインに基づく	19世紀前半	木に金メッキ、布	41.0×72.0×66.0	個人蔵
85	36	肘掛け椅子	ビエール＝ブノワ・マルシオンに帰属	19世紀初頭	マホガニー、ブロンズに金メッキ、布	48.5×68.0×93.0	個人蔵

86	37	マルメゾン宮殿で使用されていた筆記台		1810年頃	マホガニー、モロッコ革、ブロンズに金メッキ	63.5×45.0×114.0	東京富士美術館	
87	27	ナポレオン騎馬像	ジャン＝ルイ＝エルネスト・メッソニエ	19世紀中頃	ブロンズ	16.5×37.5×39.0	個人蔵	
88	20	フォンテーヌブローでのナポレオン	ポール・ドラローシュと工房	19世紀前半	油彩、カンヴァス	68.0×52.1	個人蔵	
89	31	ネイ元帥	ジュゼッパ・ドメーニコ・グランディ	19世紀	ブロンズ	12.0×15.0×30.0	東京富士美術館	
90	66	ネイ元帥が所有していた地図		1812年	紙、革		個人蔵	
46歳 2度目の退位とセント＝ヘレナ								
91	38	セント＝ヘレナ島でナポレオンが使用したと伝えられるインクスタンド		1815-21年頃	木	24.1×36.2×8.0	東京富士美術館	
92	39	セント＝ヘレナ島でナポレオンが使用したと伝えられる肘掛け椅子		1815-21年頃	マホガニー、籐	58.0×63.5×44.0	個人蔵	
93	67	セント＝ヘレナ島におけるナポレオン最後の記録		19世紀	モロッコ革装丁	30.0×24.0×2.7	創価大学	
94	68	ナポレオンの直筆回想録		1819-21年	インク、紙	32.3×20.5	東京富士美術館	
95	32	ナポレオンのデスマスク	リシャール、ケネルによる鋳造	1833年	ブロンズ	31.0×16.0	東京富士美術館	
没後19年 パリ凱旋								
96		セント＝ヘレナ島で描かれた版画集 セント＝ヘレナ島	H. ウォード	1851年	リトグラフ、着色	45.0×56.0	東京富士美術館	
97		セント＝ヘレナ島で描かれた版画集 ナポレオンが暮らしたロングウッドの館	H. ウォード	1851年	リトグラフ、着色	45.0×56.0	東京富士美術館	
98		セント＝ヘレナ島で描かれた版画集 ナポレオンが逝去した部屋	H. ウォード	1851年	リトグラフ、着色	45.0×56.0	東京富士美術館	
99		セント＝ヘレナ島で描かれた版画集 ナポレオンの墓所	H. ウォード	1851年	リトグラフ、着色	45.0×56.0	東京富士美術館	
100		ナポレオンの2回目の葬儀についての版画集 19年ぶりに開けられた棺	作者不詳	19世紀	リトグラフ、着色	36.0×44.5	東京富士美術館	
101		ナポレオンの2回目の葬儀についての版画集 パリ上陸	作者不詳	19世紀	リトグラフ、着色	44.5×36.0	東京富士美術館	
102		ナポレオンの2回目の葬儀についての版画集 パリ入城	作者不詳	19世紀	リトグラフ、着色	44.5×36.0	東京富士美術館	
103		ナポレオンの2回目の葬儀についての版画集 アンヴァリッドに到着	作者不詳	19世紀	リトグラフ、着色	44.5×36.0	東京富士美術館	
104		ナポレオンの2回目の葬儀についての版画集 アンヴァリッド内の遺体安置所	作者不詳	19世紀	リトグラフ、着色	36.0×44.5	東京富士美術館	
105	21	甦る皇帝ナポレオン	オラース・ヴェルネ	1840年	油彩、カンヴァス	64.1×54.0	個人蔵	

(5) 講演会等

■特別観賞会「おはようトーク」

日時：8月5日(水)～8月9日(日) 9：00～

■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：8月8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土) 10：00～

■美術館ボランティアによるこどものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

日時：毎週土曜日11：00～

■「香りで楽しむフランス文化」

講師：吉岡康子（日本フレグランス協会事務局長）

日時：8月24日(月) 13：00～15：30

会場：山口県立美術館ロビー

定員：30名

堀木エリ子の世界展－和紙から生まれる祈り

2009（平成21）年11月11日(水)～12月20日(日) 月曜休館（ただし、11月23日は開館、翌24日は休館）
 主催 堀木エリ子の世界展実行委員会（山口県立美術館、読売新聞西部本社、KRY山口放送）
 協賛（五十音順）サントリー、竹中工務店、凸版印刷、日本製紙、乃村工藝社、バカラ、
 パナソニック電工、ワコール
 協力（五十音順）オブザアイ、川西鋳金工業、サーフェイスライト、昭和化成、松井金属製作所、
 マックスレイ、三保谷硝子店、吉忠マネキン
 特別協力 エフエム山口
 会場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ



チラシ



和紙作家
 堀木エリ子講演会
 2009.11.14(水) 14:00-15:30
 山口県立山口図書館 レクチャールーム

未知への
 挑戦
 新たな可能性を
 求める和紙の

チラシ



ポスター

(1) 趣旨

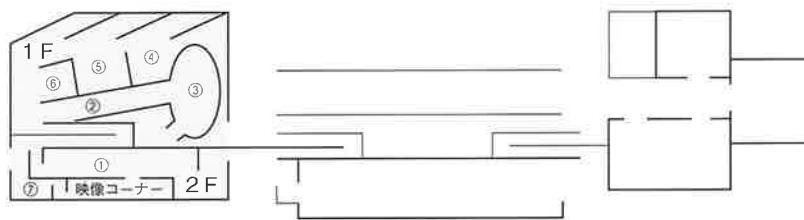
本展覧会は、和紙の世界に新しい領域を切り開いた制作者、デザイナーとして世界的に活躍する作家、堀木エリ子（1962-、京都生まれ）の作品を紹介するべく開催された。

伝統的な職人の技術を生かしつつ、現代のライフスタイルにあった新しい素材としての「和紙」を生み出している堀木の活動の範囲は、和紙制作者、あるいは和紙デザイナーというにとどまらず、自らデザインした和紙を用いて舞台空間や、公共空間を演出する空間演出家という顔を持つまでに広がっている。

本展においても、和紙そのものの手作り感やデザイン感覚そのものを意識させる、小さいサイズの作品が並ぶ最初のコーナーから、次第に作品が大型化しながら自らの芸術的な想念を具現化したアーティスティックな作品、また、公共建築で鍛えられた空間感覚を垣間見せる最大で16メートル×6メートルにもおよぶ和紙を駆使した作品など、生活感覚に根ざした親しみやすい作品から芸術的着想が具現化されたものまで、和紙によってさまざまなタイプの作品が展示され、観客にとっても、和紙の可能性を理解しやすい展示となった。

(2) 会場構成

- ① プロローグ1
- ② プロローグ2
- ③ 祈り1
- ④ 祈り2
- ⑤ 祈り3
- ⑥ 祈り4
- ⑦ 祈り5



(4) 出品目録

1：プロローグ1

堀木エリ子が23年間のキャリアの中で制作してきた和紙の中から12種類を選び、展示した空間。それぞれ3層から7層までに漉き込まれた和紙は、90cm角の額縁に絵画のように貼り込まれ、バックパネルからの光によって、各層に刻まれた文様を重層的に浮かび上がらせた。「和紙をつくるだけではなく、和紙の向こう側の気配や手前の空気感をも

つくる」という堀木の考え方を、あたかも抽象絵画を見るかのような雰囲気の中で、実感することができた。

2：プロローグ2

7層に漉き込まれた2.7m×2.1mの和紙を、アクリル板の表面に貼って、両側に各々9つずつ並べた全長24.3メートルに及ぶ光の廊下。光を乱反射するという和紙の特性を生かして作られ、虹の7色がグラデーションとして連なると同時に、丸いドットの文様が大小に伸縮しながら、永遠に連続するかのよう空間全体を包み込んだ。

3：祈り1

全長15メートル、高さ2m70cmで漉いた巨大な和紙2枚で包み込まれた光の空間。和紙本体は、楮（こうぞ）の茎や紬糸（つむぎいと）を漉き込みながら10人がかりで3ヶ月かけて制作された。全体を覆う、流れるような曲線は、日本古来の文様「立涌（たてわく）」をモチーフにしたもの（立涌とは、宇宙の良い兆しが沸き上がる意味を持つ吉祥の柄のこと）。

4：祈り2

2004年の浜名湖花博の折、野村万之丞（1959-2004）の依頼で制作された花の精をモチーフにした伎楽面。伎楽面とトルソは、パイプや樹脂を内蔵して立体的に漉きあげるとい堀木ならではの特殊な技法が用いられている一方、背景の森や湖をイメージした和紙は、堀木の和紙創作の原点である越前和紙の職人とのコラボレーションによって漉きあげられている。

5：祈り3

ウォルト・ディズニーのキャラクターと日本の伝統産業を結びつけたオブジェ。背景のタピスリーや光柱は、ミッキーマウスを象徴するアイコンとハートを古来の文様のようにデザインして、透かしと呼ばれる伝統的手法で漉きあげられている。一方、ミッキーマウスは、堀木独自の現代的手法で制作されたもので、立体的に漉かれた一枚の和紙からできている。

6：祈り4

フランスのクリスタル・ブランド、バカラとのコラボレーションによる和紙シャンデリア。抜け殻のような構造で、骨組みや糊を使用せずに柔らかな曲面を表現することができるこの堀木独特の手法は、和紙の可能性を一段と広げた。

7：祈り5

堀木が1989年から手がけてきたオリジナル創作和紙によるラッピングの作品を展示し、日本古来の折り型を基本とした独自の造形を紹介した。

(5) 講演会等

■記念講演会「未知への挑戦 ―和紙の新たなる可能性を求めて―」

日時：11月14日(土) 14：00～ 会場：山口県立図書館 レクチャールーム
講師：堀木エリ子 定員：250名（当日先着順） 無料

■作家によるギャラリー・トーク

11月14日(土) 16：00～

■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：11月29日(日)、12月13日(日) 10：00～

■美術館ボランティアによる

子どものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

日時：会期中の毎週土曜日 11：00～

◆託児サービス「ちびっこルーム」

会期中毎週木曜日（10：00～13：00）に無料の臨時託児所を用意。

吉村芳生展ーとがった鉛筆で日々をうつしつづける私ー

2010（平成22）年10月27日(水)～12月12日(日) 月曜休館

主催 吉村芳生展実行委員会（山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送）

特別協賛 ミサワホーム中国山口支店

協賛 Cross Land山口

後援 山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、中国新聞社、山口新聞社

特別協力 エフエム山口

会場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ、常設展示室Ⅱ



チラシ



チラシ



ポスター

(1) 趣旨

吉村芳生（1950年、山口県防府市生まれ）は、山口県に居を構える画家である。1970年代半ばから一貫して、写真と見間違えるほどに克明に描かれた鉛筆画を制作し国内外で発表してきた。とはいえ、「現代美術」であれ、「画壇」といわれるものであれ、日本の美術界の「表舞台」で紹介されたことは数えるほどしかない。いわば、地方で地道に活動してきた美術家である。主なる作品発表の場は、地方ギャラリーや『山口県美術展覧会』（以後『山口県展』と記す）、つまり、県単位の公募展であった。

しかし、2007年に開催された『六本木クロッシング2007 未来への脈動』展（森美術館 東京）でその初期作品が紹介されたのを機に、一躍、新聞や雑誌の記事等で次々にとりあげられ、日本の美術界でも注目を集める存在となった。本展は、「遅れてきた新人」とでも呼ぶべきこの作家の全貌を紹介する初めての大規模な個展であった。

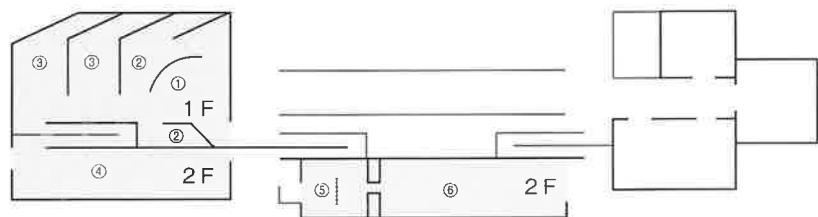
また一方で、本展は、『山口県展』を代表する作家で、2007年度大賞受賞者でもある吉村をバックアップし、県域を越えた「表舞台」の作家として活躍するための基盤をつくるという性格を併せもつものでもあった。

山口県立美術館をはじめとする山口県美術関係者は、『山口県展』そのものに、地方美術家に作品発表の機会を提供するとともに、その才能を日本の美術界に向けて発信するという機能をもたせるべく、長年にわたって努力してきた。そういうわけで、大賞受賞者は賞金50万円のほかに副賞として、翌年に新作を発表するための制作費50万円と美術館展示室一室が提供されるのだが、もちろん吉村もこの制度を利用した。そして、本展は、その第二弾にして、その拡大版という性格を持つものであった。

展覧会は私たちの予想を遙かに越える大反響を呼んだ。総入館者数43,442人。美術ファンという枠をはるかにこえて、県下全域で「吉村芳生」ファンを生み出すことができたし、次に続く作家も勇気づけられたことと思う。次なる課題は、県域を越えた巡回展の実現である。

(2) 会場構成

- ① 最新作（色鉛筆による作品）
- ② 初期作品（鉛筆による作品）
- ③ 近作（色鉛筆による作品）
- ④ 初期作品（鉛筆）、近作（色鉛筆）、初期作品（版画）
- ⑤ 最新作（新聞の一面を大きく写した作品）
- ⑥ 最新作（新聞の一面に1年間自画像を描き続けた作品）



生誕100年 香月泰男—追憶のシベリア—

2011（平成23）年3月2日(水)～5月8日(日) 月曜休館

（3月21日は開館、翌22日休館、4月26日から会期末まで無休）

主催 香月泰男展実行委員会（山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送）

協力 香月家、香月泰男美術館

協賛 JAグループ山口

特別協力 エフエム山口

特別協賛 ミサワホーム中国山口支店



チラシ



パンフレット



ポスター

(1) 趣旨

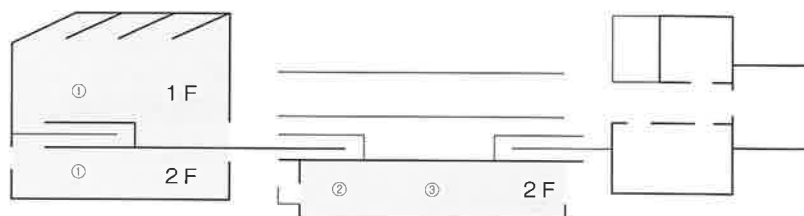
本展覧会は、山口を代表する洋画家、香月泰男の生誕100年を記念して開催された。企画段階からこれまでのシベリア・シリーズ展とは違った見方を提示することを目標に、作品の選定と展示プランの作成を行った。2004年に全国巡回した回顧展を含めて、これまでの主なシベリア・シリーズ展の構成は、おおむねシベリア抑留の体験そのものに焦点を合わせたものとなっている。それによって鑑賞者は太平洋戦争とシベリア抑留という歴史的事件を追体験し、「反戦」、「平和」、「家族愛」といった普遍的なテーマを作品から読み取ることによって鑑賞の重点が置かれてきた。それは一つの重要な視座ではある。しかしその一方で、戦争と抑留の「物語」が強調されることによって、「シベリアの画家」としての香月像が半ば神話化されてきたこともまた事実であろう。そもそもシベリア・シリーズは、大上段に構えた反戦の訴えだったのだろうか。そうであるならば、なぜ香月は一度となくシベリア・シリーズに終止符を打とうとしたのか。「私にとって、シベリアとはいったい何だったのか」、そう問い続けた香月が57点の油彩画に込めたものとは、迷いや葛藤を抱えながらも繰り返して記憶に蘇る「シベリア」を描かざるを得なかった一人の画家の心の叫びだったのではないだろうか。こうした視点にたつて、本展覧会では、シベリア抑留の体験そのものではなく、「シベリア」を三隅から追想する復員後の香月に焦点を当てることとした。展覧会のコンセプトを視覚的に実現するために、これまでのシベリア・シリーズ展で一般的であった香月が体験した順番ではなく、第一作から絶筆までおよそ27年の間に描かれた順番にシベリア・シリーズを並べる展示構成とした。

章立ては、1章「追憶のシベリア」、2章「「シベリア」までの香月泰男」、3章「香月泰男の「シベリア」」の三部構成とし、57点のシベリア・シリーズのうち、40点を1章に、残り17点を体験順に3章に並べた。展覧会の見どころとなる1章「追憶のシベリア」には、作品間の随所に香月の言葉を挿入し、絵と言葉から、「シベリア」を追想する香月の心を辿る構成にした。2章には年表と併せて、東京美術学校卒業後の梅原龍三郎風の裸婦や、応召直前の叙情的な作品など、黒と黄土色を基調とするシベリア・シリーズとは対照的な戦前の作品を展示した。また併せて「ハイラル通信」のレプリカを展示し、夫であり父親である等身大の香月を紹介した。

本展覧会は、ポスターやチラシのデザインからTVCM、会場構成にいたるまで、スタイリッシュかつ落ち着いたイメージで統一した。香月展としては異例ともいえる広報戦略であったが、シベリア・シリーズをこれまでとは違った切り口で提示できたことの意義は大きい。

(2) 会場構成

- ① I. 追憶のシベリア
- ② II. 「シベリア」までの香月泰男
- ③ III. 香月泰男の「シベリア」



(3) カタログ

作成せず

(4) 出品目録

no.	タイトル	作者	制作年	メディア	サイズ (cm)	所蔵
I. 追憶のシベリア						
1	復員〈タラップ〉	香月泰男	1967	油彩・カンヴァス	162.1 × 111.6	山口県立美術館
2	雨〈牛〉	香月泰男	1947	油彩・カンヴァス	72.8 × 117.2	山口県立美術館
3	埋葬	香月泰男	1948	油彩・カンヴァス	72.8 × 117.2	山口県立美術館
4	玉子	香月泰男	1949	油彩・カンヴァス	60.6 × 40.9	香月泰男美術館
5	仕事場	香月泰男	1952	油彩・カンヴァス	72.5 × 116.5	香月泰男美術館
6	椅子の上の章魚	香月泰男	1951	油彩・カンヴァス	65.5 × 45.5	香月泰男美術館
7	彼岸花	香月泰男	1954	油彩・カンヴァス	60.6 × 40.9	香月泰男美術館
8	土間の山鳥	香月泰男	1955	油彩・カンヴァス	33.5 × 53.2	山口県信用農業協同組合連合会
9	帽子の中の薯	香月泰男	1955	油彩・カンヴァス	33.5 × 53.1	山口県信用農業協同組合連合会
10	椅子の上の山鳥	香月泰男	1955	油彩・カンヴァス	73.0 × 49.8	香月泰男美術館
11	左官	香月泰男	1956	油彩・カンヴァス	116.9 × 72.8	山口県立美術館
12	乗客	香月泰男	1957	油彩・カンヴァス	117.0 × 72.7	山口県立美術館
13	鷹	香月泰男	1958	油彩・カンヴァス	64.8 × 99.7	山口県立美術館
14	北へ西へ	香月泰男	1959	油彩・カンヴァス	73.1 × 116.9	山口県立美術館
15	1945	香月泰男		油彩・カンヴァス	73.3 × 116.7	山口県立美術館
16	運ぶ人	香月泰男	1960	油彩・カンヴァス	72.3 × 116.9	山口県立美術館
17	穴掘人	香月泰男		油彩・カンヴァス	72.8 × 116.7	山口県立美術館
18	涅槃	香月泰男		油彩・カンヴァス	130.3 × 194.3	山口県立美術館
19	黒い太陽	香月泰男	1961	油彩・カンヴァス	116.8 × 73.4	山口県立美術館
20	アムール	香月泰男	1962	油彩・カンヴァス	162.1 × 112.0	山口県立美術館
21	雪	香月泰男	1963	油彩・カンヴァス	112.3 × 162.9	山口県立美術館
22	伐	香月泰男	1964	油彩・カンヴァス	73.0 × 116.5	山口県立美術館
23	鋸	香月泰男		油彩・カンヴァス	73.1 × 116.5	山口県立美術館
24	神農	香月泰男		油彩・カンヴァス	90.8 × 60.5	山口県立美術館
25	餓	香月泰男		油彩・カンヴァス	162.6 × 112.3	山口県立美術館
26	凍土	香月泰男	1965	油彩・カンヴァス	112.2 × 162.5	山口県立美術館
27	荊	香月泰男	1965	油彩・カンヴァス	73.3 × 117.2	山口県立美術館
28	海〈ベーチカ〉冬	香月泰男	1966	油彩・カンヴァス・紙	111.9 × 161.9	山口県立美術館
29	私〈マホルカ〉	香月泰男		油彩・カンヴァス	73.0 × 117.2	山口県立美術館
30	別	香月泰男	1967	油彩・カンヴァス	162.5 × 112.0	山口県立美術館
31	雨	香月泰男	1968	油彩・カンヴァス	117.1 × 73.0	山口県立美術館
32	護	香月泰男	1969	油彩・カンヴァス	72.9 × 116.1	山口県立美術館
33	煙	香月泰男		油彩・カンヴァス	72.8 × 117.0	山口県立美術館
34	青の太陽	香月泰男		油彩・カンヴァス	162.0 × 112.7	山口県立美術館
35	朕	香月泰男	1970	油彩・カンヴァス	162.5 × 112.6	山口県立美術館
36	奉天(右)	香月泰男		油彩・カンヴァス	72.7 × 117.0	山口県立美術館
37	奉天(左)	香月泰男		油彩・カンヴァス	72.5 × 116.9	山口県立美術館
38	蒙火	香月泰男		油彩・カンヴァス	162.5 × 97.3	山口県立美術館
39	-35°	香月泰男	1971	油彩・カンヴァス	162.5 × 97.0	山口県立美術館
40	点呼(右)	香月泰男		油彩・カンヴァス	73.0 × 116.9	山口県立美術館
41	点呼(左)	香月泰男		油彩・カンヴァス	72.8 × 116.7	山口県立美術館
42	絵具箱	香月泰男	1972	油彩・カンヴァス	112.2 × 162.6	山口県立美術館
43	日本海	香月泰男		油彩・カンヴァス	96.0 × 194.3	山口県立美術館
44	海拉爾	香月泰男		油彩・カンヴァス	73.4 × 116.8	山口県立美術館
45	道	香月泰男		油彩・カンヴァス	72.8 × 116.5	山口県立美術館
46	デモ	香月泰男	1973	油彩・カンヴァス	97.0 × 193.0	山口県立美術館
47	渚〈ナホトカ〉	香月泰男	1974	油彩・カンヴァス	97.0 × 162.3	山口県立美術館
II. 「シベリア」までの香月泰男						
48	嘉靖鉢静物	梅原龍三郎	1950	金地油彩・紙	38.5 × 49.5	山口県立美術館
49	襪編	香月泰男	ca. 1931-36	油彩・カンヴァス	33.0 × 23.8	山口県立美術館
50	風景	香月泰男	1936	油彩・カンヴァス	61.0 × 72.8	山口県立美術館
51	波紋	香月泰男	1943	油彩・カンヴァス	72.7 × 116.7	個人蔵
III. 香月泰男の「シベリア」						
52	雲	香月泰男	1968	油彩・カンヴァス	116.9 × 72.8	山口県立美術館
53	朝陽	香月泰男	1965	油彩・カンヴァス	90.9 × 60.6	山口県立美術館
54	ホロンバイル	香月泰男	1960	油彩・カンヴァス	72.8 × 116.8	山口県立美術館
55	避難民	香月泰男	1960	油彩・カンヴァス	73.4 × 117.1	山口県立美術館
56	湿地	香月泰男	1961	油彩・カンヴァス	73.6 × 50.0	山口県立美術館
57	雪山	香月泰男	1972	油彩・カンヴァス	116.9 × 72.9	山口県立美術館
58	雪〈窓〉	香月泰男	1963	油彩・カンヴァス	117.4 × 73.2	山口県立美術館
59	列	香月泰男	1961	油彩・カンヴァス	116.7 × 72.8	山口県立美術館
60	囚	香月泰男	1965	油彩・カンヴァス	72.8 × 116.7	山口県立美術館
61	凍河〈エニセイ〉	香月泰男	1966	油彩・カンヴァス	73.5 × 117.5	山口県立美術館
62	星〈有刺鉄線〉夏	香月泰男	1966	油彩・カンヴァス	162.0 × 90.9	山口県立美術館
63	ダモイ	香月泰男	1959	油彩・カンヴァス	73.0 × 116.8	山口県立美術館
64	バイカル	香月泰男	1971	油彩・カンヴァス	162.3 × 112.3	山口県立美術館
65	ナホトカ	香月泰男	1961	油彩・カンヴァス	116.5 × 73.0	山口県立美術館
66	日の出	香月泰男	1974	油彩・カンヴァス	117.1 × 72.7	山口県立美術館
67	月の出	香月泰男	1974	油彩・カンヴァス	117.1 × 72.9	山口県立美術館
68	〈私の〉地球	香月泰男	1968	油彩・カンヴァス	112.3 × 162.3	山口県立美術館

(5) 講演会等

■美術講座

「香月泰男のシベリア・シリーズ」

講師：萬屋健司

日時：3月5日(土) 14:00～

会場：美術館講座室

定員：80名

■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：会期中の毎週土曜日 14:00～

* 4月2日、30日、5月7日は10:00～と14:00～の一日2回開催

■美術館ボランティアによるこどものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

日時：会期中毎週土曜日 11:00～

■託児サービス「ちびっこルーム」(定員制・要予約)

日時：会期中毎週木曜日 10:00～13:00

会場：美術館講座室

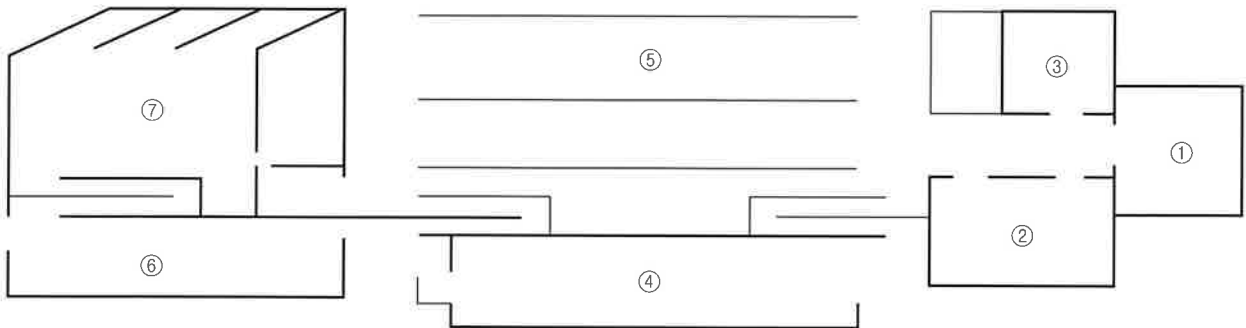
(2) コレクション展

館藏品（寄託品・借用品を含む場合もある）の常時公開の場として常設展示室を設け、テーマを設定した館藏品の紹介を行っている。平成20年（2008）度から、従来の「常設展」から「コレクション展」と名称を変更した。

常設展示エリアは4室からなっており、そのうち3室、香月泰男室（①）、小林和作室（②）、郷土工芸室（③）が1階フロアに、残る1室（④）が2階フロアに設置されている。1階フロアの3室のうち、小林和作室はかつては可動壁によって2室に区切られていたが、平成18年（2006）の「雪舟への旅」展以降は、つねに壁を収納して1室として使用している。1階フロアの3室を展示室A、2階フロアの1室を展示室Bと呼んでいる。

また、戸外に野外展示場（⑤）を設け、館内展示が不可能な立体造形の紹介、展観の場として現代彫刻等の作品数点を設置しているが、このスペースは鑑賞の合間の休憩の場としても利用されている。

さらに、常設展示エリア以外の2室の展示室である、展示室C（⑥）・展示室D（⑦）が利用可能な場合は、これらをもコレクション展のスペースとして活用している。

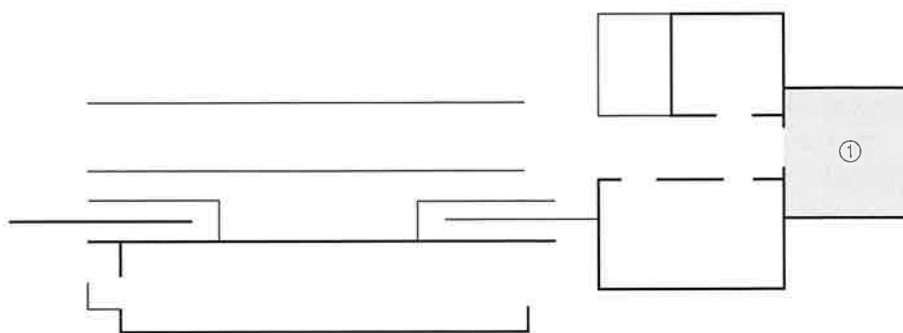


展示室A	(①～③)	402.309㎡
展示室B	(④)	471.825㎡
野外展示場	(⑤)	1370.000㎡
展示室C	(⑥)	304.695㎡
展示室D	(⑦)	583.298㎡

* 凡例

以下の常設展示記録は、2009年度、2010年度のそれぞれについて展示室毎に整理し、原則として、名称・会期・出品作品リストの順に記載し、さらに図録などの刊行物がある場合にはその表紙写真などを掲載している。

2009年度（平成21年度）
展示室 A（香月泰男室）



香月泰男 シベリア・シリーズⅠ マチエールをみる 2009年4月14日～7月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	運ぶ人	香月泰男	1960年	油彩、カンヴァス	
2	1945	香月泰男	1959年	油彩、カンヴァス	
3	列	香月泰男	1961年	油彩、カンヴァス	
4	アムール	香月泰男	1962年	油彩、カンヴァス	
5	餓	香月泰男	1964年	油彩、カンヴァス	
6	復員（クラブ）	香月泰男	1966年	油彩、カンヴァス	
7	奉天（左）	香月泰男	1970年	油彩、カンヴァス	
8	奉天（右）	香月泰男	1970年	油彩、カンヴァス	
9	渚（ナホトカ）	香月泰男	1974年	油彩、カンヴァス	

永地秀太と太平洋画会 2009年7月22日～10月25日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	虚無	戸張孤雁	1920年	ブロンズ	
2	ゆあみ	新海竹太郎	1907年	ブロンズ	
3	絞り	永地秀太	1913年	油彩、カンヴァス	
4	更紗の前	永地秀太	1924年	油彩、カンヴァス	
5	壁に倚れる女	永地秀太	1925年	油彩、カンヴァス	
6	静物	永地秀太	1909年	油彩、カンヴァス	
7	ギリシアの浮彫	永地秀太	1937年	油彩、カンヴァス	
8	静物	永地秀太	1930年	油彩、カンヴァス	
9	踊り子	桑重儀一	1913年	油彩、カンヴァス	寄託品
10	ホノルル	桑重儀一	1915年	油彩、カンヴァス	
11	おどけ役者	桑重儀一	1933年	油彩、カンヴァス	
12	アネモネ	桑重儀一	不詳	油彩、カンヴァス	
13	外国風景	桑重儀一	不詳	油彩、カンヴァス	
14	トレド風景	桑重儀一	1911年	油彩、カンヴァス	
15	裸婦	桑重儀一	不詳	油彩、カンヴァス	
16	静物（水筒）	河上左京	1919年	水彩、紙	寄託品
17	静物（芍薬）	河上左京	1920年	水彩、紙	寄託品
18	楠の木	河上左京	不詳	水彩、紙	寄託品
19	静物（海芋）	河上左京	1921年	水彩、紙	寄託品
20	静物（さかな）	河上左京	1929年	水彩、紙	寄託品
21	静物（青い壺）	河上左京	1925-30年	水彩、紙	寄託品
22	自画像	河上左京	1919年	水彩、紙	寄託品

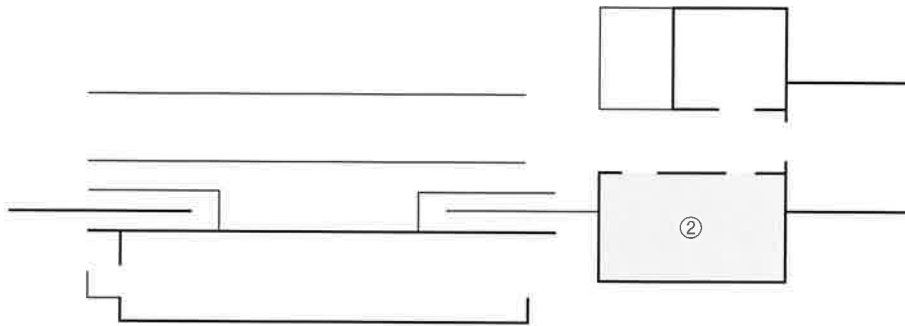
香月泰男 シベリアシリーズⅡ 色彩をみる 2009年10月27日～12月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	餓	香月泰男	1964年	油彩、カンヴァス	
2	1945	香月泰男	1959年	油彩、カンヴァス	
3	渚（ナホトカ）	香月泰男	1974年	油彩、カンヴァス	
4	雨（牛）	香月泰男	1947年	油彩、カンヴァス	
5	涅槃	香月泰男	1960年	油彩、カンヴァス	
6	〈私の〉地球	香月泰男	1968年	油彩、カンヴァス	
7	業火	香月泰男	1970年	油彩、カンヴァス	
8	日本海	香月泰男	1972年	油彩、カンヴァス	
9	デモ	香月泰男	1973年	油彩、カンヴァス	

小林和作の四季—美しい構図を求めて— 2010年1月8日～4月4日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	春の山	小林和作	1951年	油彩、カンヴァス	
2	英彦山の秋	小林和作	不詳	油彩、カンヴァス	
3	秋山	小林和作	1963年	油彩、カンヴァス	
4	秋山	小林和作	不詳	油彩、カンヴァス	
5	春	小林和作	不詳	油彩、カンヴァス	
6	海	小林和作	1961年	油彩、カンヴァス	
7	春の海	小林和作	1974年	油彩、カンヴァス	
8	佐渡の海	小林和作	不詳	油彩、カンヴァス	
9	海	小林和作	1964年	油彩、カンヴァス	
10	山湖の秋	小林和作	不詳	油彩、カンヴァス	
11	秋晴	小林和作	1957年	油彩、カンヴァス	
12	山湖	小林和作	1955年	油彩、カンヴァス	

展示室 A (小林和作室)



桃山の巨匠 雲谷等顔 2009年4月14日～5月31日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	山水図屏風	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双	寄託品
2	群馬図屏風	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双	
3	懶瓊燒芋図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
4	臨濟菘松図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
5	潑墨山水図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
6	潑墨山水図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
7	枯木にかわせみ図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
8	瀟湘八景図帖	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	帖装	一帖	寄託品
9	瀟湘八景図巻	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	卷子装	一卷	

日本画の昭和初期 2009年6月2日～7月20日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	大仏寺	阪口一草	1941(昭和16)年	紙本着色	額装	一面	
2	朝鮮古廟	山岡良文	1938(昭和13)年	紙本着色	額装	三面	寄託品
3	放鳥	山岡良文	1938(昭和13)年	紙本着色	額装	一面	寄託品
4	鶴雛	福田翠光	1934(昭和9)年	紙本着色	二曲屏風	一隻	
5	初夏	藤田隆治	1925-30年	紙本着色	二曲屏風	一隻	
6	喫茶室	田口杜	1934(昭和9)年	紙本着色	二曲屏風	一隻	寄託品
7	舟舩	加納三楽	1934(昭和9)年	紙本着色	二曲屏風	一双	
8	芥川図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色	掛幅装	一幅	
9	老松図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色	掛幅装	一幅	
10	出山釈迦図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色	掛幅装	一幅	
11	紅葉二小禽図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色	掛幅装	一幅	
12	黄菊白菊図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色	掛幅装	一幅	
13	藤花遊禽図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色	掛幅装	一幅	

雲谷等益 瀟洒な美意識 2009年7月22日～8月16日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	瀟湘八景図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双	
2	芦鶴図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画着色	六曲屏風	一双	寄託品
3	樓閣山水図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	
4	茄子図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
5	潑墨山水図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	二幅	寄託品
6	蓮音図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
7	神農図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	

江戸初期の雪舟流 2009年8月18日～9月13日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	琴棋書画園屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画着色	六曲屏風	一雙	
2	琴棋書画園屏風	雲谷等の	江戸時代前期	紙本墨画着色	六曲屏風	一雙	寄託品
3	樹下高士山水図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	掛幅装	三幅	
4	梅雀図	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
5	竹林雀図	雲谷等の	江戸時代前期	紙本墨画着色	掛幅装	一幅	
6	渡唐天神図	斎藤等順	江戸時代初期	紙本墨画着色	掛幅装	一幅	
7	架鷹図	三谷等宿	江戸時代前期	紙本墨画着色	掛幅装	一幅	

狩野芳崖 近代日本画を創る 2009年8月18日～10月25日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	懸崖飛沫図	狩野芳崖	1885(明治18)年頃	絹本墨画	掛幅装	一幅	
2	八臂弁才天図	狩野芳崖	1857(安政4)年頃	絹本着色	掛幅装	一幅	
3	羅漢図	狩野芳崖	明治時代前期	絹本着色	掛幅装	二幅	
4	呂洞賓鉄拐図	狩野芳崖	明治時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	
5	月夜山水図	狩野芳崖	明治時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	
6	土農工商図	狩野芳崖	明治時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅装	四幅	
7	四季耕作図	狩野芳崖	1872(明治5)年頃	紙本墨画淡彩	四曲屏風	一隻	
8	青砥藤纏滑川拾銭図	狩野芳崖	明治時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	

雪舟 2009年10月27日～11月29日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	傲高克蒸山水図巻	雪舟等楊	1474(文明6)年	紙本墨画	卷子装	一卷	
2	達磨図	周徳	室町時代末期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
3	東帯天神図	雪舟等楊	1493(明応2)年	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	
4	雪舟像	雲谷等與	1639(寛永16)年	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
5	祝音図	伝雪舟	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
6	龍図	伝雪舟	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
7	山水図屏風	伝雪舟	江戸時代前期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
8	山水図屏風	雲谷派	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	

雲谷派三代 等與と等爾 2009年12月1日～12月20日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	群鶴図屏風	雲谷等與	江戸時代前期	紙本墨画着色	六曲屏風	一雙	
2	花鳥図屏風	斎藤等室	江戸時代前期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
3	鶏図	雲谷等與	江戸時代前期	絹本墨画着色	掛幅装	一幅	
4	布袋図	雲谷等與	江戸時代前期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
5	雪景山水図	雲谷等爾	江戸時代前期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
6	寒山拾得図	雲谷等爾	江戸時代前期	絹本墨画着色	掛幅装	二幅	
7	山水図	雲谷等爾	江戸時代前期	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
8	白鷹図	雲谷等與	江戸時代前期	紙本墨画着色	掛幅装	一幅	寄託品

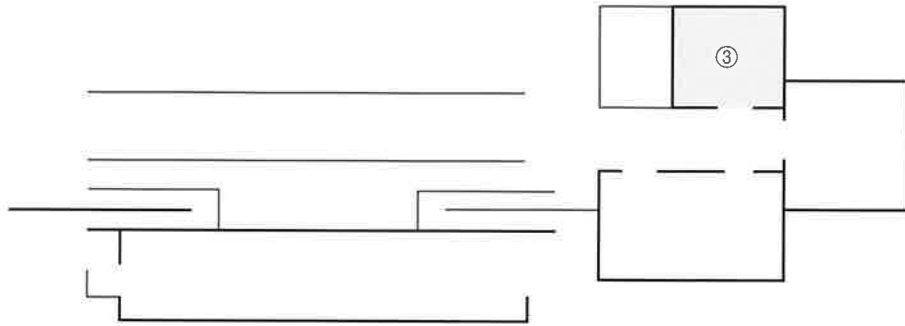
松林桂月 最後の文人画家 2010年1月8日～2月28日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	長門峡図	松林桂月	1915(大正4)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	
2	長門峡図	松林桂月	1951(昭和26)年	絹本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
3	夜雨図	松林桂月	1962(昭和37)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	寄託品
4	雨後図	松林桂月	1955(昭和30)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	寄託品
5	桃花双鶏図	松林桂月	1895(明治28)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	寄託品
6	夏景山水図	松林桂月	1910(明治43)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	寄託品
7	燕語春風図	松林桂月	不詳	絹本墨画淡彩	掛幅装	一幅	
8	竹林幽趣図	松林桂月	1956(昭和31)年	絹本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
9	竹林夜雨図	松林桂月	1962(昭和37)年	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
10	朱竹図	松林桂月	不詳	絹本朱墨	掛幅装	一幅	寄託品
11	雲石図	松林桂月	不詳	絹本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
12	詩軸	松林桂月	1915(大正4)年	絹本墨書	掛幅装	一幅	寄託品
13	夜桜図	松林桂月	1915(大正4)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	寄託品
14	秋江問釣図	松林桂月	1915(大正4)年	絹本墨画著色	掛幅装	一幅	寄託品
15	菊花図	松林桂月	1915(大正4)年	絹本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
16	魚介類写生図巻	松林桂月	不詳	紙本墨画淡彩	卷子装	一卷	

雲谷派の変貌 四代等璠とその後 2010年3月2日～4月4日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	山水図屏風	雲谷等璠	江戸時代中期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
2	花鳥図屏風	雲谷等鶴	江戸時代中期	紙本墨画着色	六曲屏風	一雙	
3	芙蓉図	雲谷等璠	江戸時代中期	紙本墨画着色	掛幅装	一幅	寄託品
4	鯉図	雲谷等竺	江戸時代中期	絹本墨画着色	掛幅装	二幅	
5	鶴図	雲谷等竺	江戸時代中期	紙本墨画着色	掛幅装	二幅	寄託品
6	磯上釣魚・崖下双鷺図	雲谷等村	江戸時代後期	紙本墨画	掛幅装	二幅	寄託品

展示室A（郷土工芸室）



十二代三輪休雪 優雅な欲望 2009年4月14日～7月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	騎士の歌	三輪休雪（12代）（三輪龍作）	1967	陶	平成22年度移管
2	〈ハートの騎士〉	〃	1967	〃	〃
3	〈レズビアン〉	〃	1968	〃	〃
4	〈薔薇の祈り〉	〃	1968	〃	〃
5	〈薔薇の指輪〉	〃	1968	〃	〃
6	〈薔薇の誘惑〉	〃	1968	〃	〃
7	〈薔薇の誘惑〉	〃	1868	〃	〃
8	ソフトクリーム	〃	1968	〃	〃
9	紳士の為に	〃	1969	〃	〃
10	紳士の為に	〃	1969	〃	〃
11	ビーナス	〃	1970	〃	〃
12	シャトー	〃	1972	〃	〃
13	愛液Ⅱ	〃	1972	〃	〃
14	眼の人	〃	1973	〃	〃
15	M氏夫妻	〃	1974	〃	〃
16	R氏の肖像	〃	1974	〃	〃
17	故R氏	〃	1974	〃	〃
18	目隠しの人	〃	1975	〃	〃
19	無題（〈人間〉シリーズより）	〃	1975-79頃	〃	〃
20	無題（〈人間〉シリーズより）	〃	1975-79頃	〃	〃
21	マンドリン	〃	1976	〃	〃
22	S夫人	〃	1976	〃	〃
23	掌の人	〃	1977	〃	〃
24	ハロー	〃	1977	〃	〃
25	花Ⅱ	〃	1977	〃	〃
26	女王の休息	〃	1977	〃	〃
27	〈花〉	〃	1977	〃	〃
28	〈花〉	〃	1977	〃	〃

※作品は「オブジェ群」169点（C-201）に含まれる。〈 〉付きのタイトルは、シリーズ名または同一モチーフの作品

山口の伝統工芸 金工と赤間硯 2009年7月22日～10月25日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	切嵌象嵌接合せ長皿「翔雅」	山本晃	1993	金、銀、銅及びその合金	
2	接合二段箱「草叢」	〃	1997	〃	
3	接合箱「紡」	〃	1997	〃	
4	切嵌象嵌接合せ鉢「巖」	〃	1997	〃	
5	接合せ短冊箱「紡」	〃	1999	〃	
6	接合せ箱「麦秋」	〃	1999	〃	
7	銀四分一赤銅接合せ箱「青響」	〃	2000	〃	
8	接合せ箱「山背」	〃	2004	〃	
9	赤間硯「累柿研」	堀尾卓司	1950	石	
10	赤間硯「おしべ」	〃	1957	〃	
11	赤間硯「豊麗」	〃	1959	〃	
12	赤間硯「ビルディング」	〃	1970	〃	
13	赤間硯「双体」	〃	〃	〃	
14	赤間硯「蘭花研」	〃	1956	〃	
15	赤間硯「すみすり」	〃	1979	〃	
16	長方研	堀尾信夫	1998	〃	
17	瓜硯	〃	1985	〃	

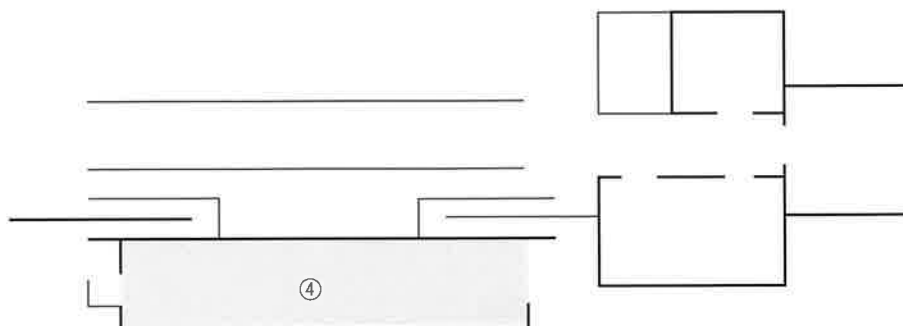
植木茂 抽象彫刻の先駆者 2009年10月27日～12月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	トルソ	植木茂	1947	木	
2	✳	✳	1954頃	✳	
3	✳	✳	1963頃	✳	
4	✳	✳	1954	✳	
5	✳	✳	1954	✳	
6	✳	✳	1954頃	✳	
7	✳	✳	1958	✳	
8	✳	✳	1959	✳	
9	✳	✳	1958	✳	
10	✳	✳	1963頃	✳	
11	✳	✳	1959	✳	
12	✳	✳	1978頃	✳	
13	✳	✳	1980	✳	
14	✳	✳	1981	✳	
15	✳	✳	1981	✳	
16	✳	✳	1979以前	✳	

火と土の冒険 現代陶芸 2010年1月8日～4月4日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	流沙の人	三輪龍作 (三輪休雪(12代))	1979	陶	平成22年度移管
2	証言	鯉江良二	1973	✳	✳
3	砂の聖書	荒木高子	1980	✳	✳
4	赤ちゃんの帽子	里中英人	1973	✳	✳
5	カップを破壊する石	西村陽平	1982	カップ、石	✳
6	燃えない木	西村陽平	1984	木、土 (黒陶)	✳
7	KOK85E-2	井上雅之	1985	陶、磁	✳
8	アイス・バケツ	P. ヴォーコス	1982	土	✳
9	プレート	P. ヴォーコス	1982	陶	✳
10	無題	井澤乙也	1983	陶、土、木	✳

展示室B



フラワーズ！ 2009年4月14日～6月14日

番号	作品	作者	製作年	材質	備考
1. 春爛漫					
1	円山公園のしだれざくら (京都)	福田勝治		ゼラチン・シルヴァー・プリント	
2	糸ざくら (天竜寺) (京都)	福田勝治		ゼラチン・シルヴァー・プリント	
3	春	小林和作		油彩・カンヴァス	
4	萌芽	福田翠光		絹本着色	
5	童女	森本武雄	1927年	絹本着色	
2. 季節を描く					
6	春秋山水図屏風	高島北海	1928年	紙本金地着色	
7	白椿	小林和作		紙本着色	
8	梅月図	狩野芳崖	明治時代	紙本墨画	
9	桃鳩	小林和作		紙本着色	
10	花水木二小禽図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色金泥	
11	雁来紅朝顔図	松林雪貞	1915年	絹本着色	
12	紅圀	福田翠光	1952年	紙本着色	
13	芙蓉図	曾我二直庵	江戸時代17世紀前期	紙本着色	
14	菊花白禽図	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	絹本着色金泥	
15	菊花園	松林雪貞	昭和時代	絹本着色	寄託品
3. 姿を写す					
16	コスモス	吉村芳生		色鉛筆、紙	
17	草花帖	玉村方久斗	大正～昭和時代初期	紙本着色金泥	

18	植物写生 (18点)	松林雪貞		紙本墨画淡彩	
19	花卉図巻	小田海徳	1841年	絹本着色	
4. 模様になった花					
20	銀座 (銀座)	福田勝治		ゼラチン・シルヴァー・プリント	
21	更紗の前	永地秀太	1924年	油彩、カンヴァス	
22	雪姫	森本武雄	昭和時代	絹本着色	
23	赤間硯「蘭花研」	堀尾卓司	1956年	石	
24	蕪図絵皿	香月泰男絵付		陶	
25	色絹島花瓶	今泉今右衛門(12代)		陶	
5. 花からふくらむイメージ					
26	おとめ (静物)	福田勝治	1952年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
27	花と光と裸婦 (花と光と裸婦)	福田勝治	1968年	カラープリント	
28	花と光と裸婦 (花と光と裸婦)	福田勝治	1971年	カラープリント	
29	花と光と裸婦 (花と光と裸婦)	福田勝治	1970年	カラープリント	
30	花と光と裸婦・脚を組んだ裸婦 (花と光と裸婦)	福田勝治	1969年	カラープリント	
6. 花を飾る					
31	百合花	錦義一郎		油彩、カンヴァス	
32	静物	永地秀太	1926年	油彩、カンヴァス	
33	静物	永地秀太	1930年	油彩、カンヴァス	
34	椿	中川一政		紙本着色	
35	薔薇	中川一政		油彩、カンヴァス	
36	バラ	松田正平	1975年	油彩・カンヴァス	寄託品
37	バラ	松田正平	1975年	油彩・カンヴァス	寄託品
38	バラ	松田正平	1980年	クレヨン・色鉛筆・鉛筆・紙	寄託品
39	バラ	松田正平		クレヨン・色鉛筆・鉛筆・紙	寄託品
40	バラ	松田正平	1978年	ボールペン・色鉛筆・鉛筆・紙	寄託品
41	胡蝶花	香月泰男	1962-67年頃	黒・クレヨン・紙	寄託品
42	野いばら	香月泰男	1955年	水彩、鉛筆、紙	
43	花と光と裸婦	福田勝治	1964年	カラープリント	
44	白磁花瓶	上田恒次		陶	

福田勝治と昭和の写真 2009年6月19日～7月20日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
01	静物	福田勝治	1925	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
02	ゴム手袋と卵の静物	福田勝治	1933	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
03	蛙の鳴くころ	福田勝治	1936	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
04	乳房	福田勝治	1937	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
05	乳房	福田勝治	1937	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
06	乳房	福田勝治	1937	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
07	春の微風	福田勝治	c.1937	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
08	黒髪	福田勝治	1938	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
09	テイコ・イトウ	福田勝治	c.1939	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
10	卵の静物	福田勝治	1939	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
11	静物	福田勝治	1939	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
12	引き揚げ 上野駅 『カストリ時代』より	林忠彦	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
13	煙草をくゆらす浮浪児 上野 『カストリ時代』より	林忠彦	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
14	裸婦	福田勝治	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
15	グミの実のはやくすっぱいよ	福田勝治	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
16	倒壊したビルを家に 江戸川橋 『カストリ時代』より	林忠彦	1947	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
17	坂口安吾 『カストリ時代』より	林忠彦	1948	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
18	ピヤホール 『浅草にて』より	金井精一	1949	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
19	ストリップ小屋楽屋 浅草 『カストリ時代』より	林忠彦	1949	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
20	心の小窓 (藤田泰子)	福田勝治	1949	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
21	光の貝殻	福田勝治	1949	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
22	青空楽団 『浅草にて』より	金井精一	1950	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
23	ゴミ捨て場のパー 大森 『カストリ時代』より	林忠彦	1950	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
24	街角 『浅草にて』より	金井精一	1951	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
25	ロック座楽屋口 『浅草にて』より	金井精一	1951	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
26	ロック座裏 『浅草にて』より	金井精一	1951	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
27	おもちゃ屋 『浅草にて』より	金井精一	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
28	秋田市泉 『秋田』より	木村伊兵衛	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
29	おとめ	福田勝治	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
30	静物	福田勝治	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
31	白紙	福田勝治	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
32	太陽光	福田勝治	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
33	求人ビラに見入る飯田橋職安 『カストリ時代』より	林忠彦	1953	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
34	豊漁 千葉県片貝 『カストリ時代』より	林忠彦	1953	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
35	秋田 『秋田』より	木村伊兵衛	1953	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
36	大曲市内 小貫 『秋田』より	木村伊兵衛	1954	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
37	托鉢僧とストリップ浅草 『カストリ時代』より	林忠彦	1954	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
38	静物	福田勝治	1954	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
39	京都の印象	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
40	冬の道 秋田 『裏日本』より	濱谷浩	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
41	水の下の地曳き網 秋田 『裏日本』より	濱谷浩	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント	

42	赤子を背負った子 青森 『裏日本』より	濱谷浩	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
43	占領下の皇居前広場 『カストリ時代』より	林忠彦	c.1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
44	イタリア紀行	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
45	イタリア紀行：カステル・マダマにて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
46	イタリア紀行：船も眠りに	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
47	イタリア紀行：シエナにて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
48	イタリア紀行：船を上げて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
49	イタリア紀行：夜のサン・マルコ聖堂	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
50	イタリア紀行：サンタ・クロッチェの鐘楼	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
51	緋つくり 新潟 『裏日本』より	濱谷浩	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント
52	嫁入り 石川 『裏日本』より	濱谷浩	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント
53	大曲市内小友 『秋田』より	木村伊兵衛	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント
54	歌声喫茶 新宿 『カストリ時代』より	林忠彦	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント
55	広島カープ私設応援団広島市民球場 『カストリ時代』より	林忠彦	1957?	ゼラチン・シルヴァー・プリント
56	東福寺：光明拝院	福田勝治	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント
57	竜安寺：石庭	福田勝治	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント
58	美しき木目を（桂離宮）	福田勝治	1957?	ゼラチン・シルヴァー・プリント
59	突い日の海女 福井 『裏日本』より	濱谷浩	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント
60	八郎湯 『秋田』より	木村伊兵衛	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント
61	伊勢湾台風 名古屋	東松照明	1959	ゼラチン・シルヴァー・プリント
62	家 熊本・天草下島	東松照明	1959	ゼラチン・シルヴァー・プリント
63	熱線とその後の火災で溶解変形した紙 『(11時02分) NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント
64	山口仙二さん 『(11時02分) NAGASAKI』より	東松照明	1962	ゼラチン・シルヴァー・プリント
65	大曲市大曲西根 『秋田』より	木村伊兵衛	1963	ゼラチン・シルヴァー・プリント
66	横手	木村伊兵衛	1963	ゼラチン・シルヴァー・プリント
67	花と光と裸婦	福田勝治	1971	ゼラチン・シルヴァー・プリント

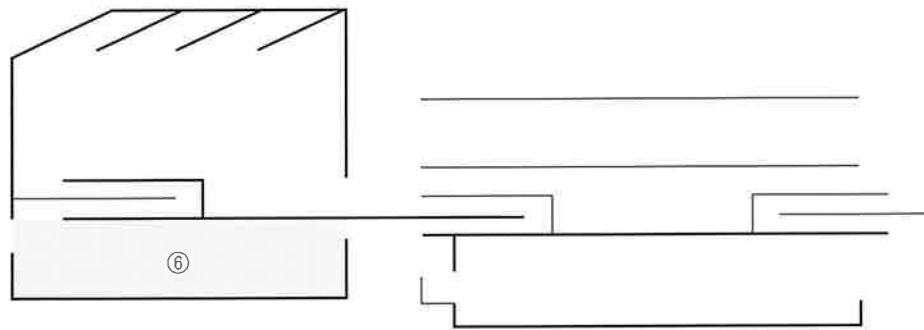
松田正平 美しい絵はだをもとめて 2010年1月8日～4月4日



番号	作品	作者	制作年	素材	備考
1	自画像	松田正平	1955年	油彩、カンヴァス	寄託品
2	バラ	〃	1975年	油彩、カンヴァス	寄託品
3	白い花	〃	1933年	油彩、カンヴァス	寄託品
4	高津浜風景	〃	1938年	油彩、カンヴァス	
5	裸婦	〃	1942年	油彩、カンヴァス	
6	画家の父	〃	1942年	油彩、カンヴァス	
7	上白根風景	〃	1943年	油彩、カンヴァス	
8	顔を覆う女	〃	1953年	油彩、カンヴァス	
9	父と子	〃	1953年	油彩、カンヴァス	
10	銭湯	〃	1955年	油彩、カンヴァス	
11	月夜	〃	1956年	油彩、カンヴァス	
12	高萩風景	〃	1957年	油彩、カンヴァス	
13	碓風景	〃	1958年	油彩、カンヴァス	
14	ベスタロッツ	〃	1957年	油彩、カンヴァス	寄託品
15	裸婦	〃	1959年	油彩、カンヴァス	
16	かみきり虫	〃	1959年	油彩、カンヴァス	寄託品
17	燈台（柳井港湾）	〃	1959年	油彩、カンヴァス	寄託品
18	燈台（宇部港湾）	〃	1960年	油彩、カンヴァス	寄託品
19	洋梨	〃	1970年	油彩、カンヴァス	寄託品
20	ニンニクとピーマン	〃	1962年	油彩、カンヴァス	寄託品
21	立木	〃	1969年	油彩、カンヴァス	寄託品
22	男たち	〃	1965年	油彩、カンヴァス	寄託品
23	女性肖像	〃	1974年	油彩、カンヴァス	寄託品
24	女性肖像	〃	1974年	油彩、カンヴァス	寄託品
25	西洋人形	〃	1975年	油彩、カンヴァス	寄託品
26	N氏肖像	〃	1977年	油彩、カンヴァス	寄託品
27	フルートを吹く人	〃	1985年	油彩、カンヴァス	寄託品
28	裸婦	〃	1979年	油彩、カンヴァス	寄託品
29	裸婦	〃	1980年	油彩、カンヴァス	寄託品
30	裸婦	〃	1973年	油彩、カンヴァス	寄託品
31	裸婦	〃	1977年	油彩、カンヴァス	寄託品
32	大威徳明王	〃	1976年	油彩、カンヴァス	寄託品
33	大威徳明王	〃	1975年	油彩、カンヴァス	
34	鱈	〃	1978年	油彩、カンヴァス	寄託品
35	四国犬（ハチ）	〃	1979年	油彩、カンヴァス	寄託品
36	大きな魚	〃	1984年	油彩、カンヴァス	

37	周防灘	●	1972年	油彩、カンヴァス	寄託品
38	周防灘	●	1980年	油彩、カンヴァス	
39	周防灘	●	1974年	油彩、カンヴァス	寄託品
40	周防灘 (祝鳥)	●	1980年	油彩、カンヴァス	寄託品
41	書 (勝海舟語)	●	1991年	墨、紙	寄託品
42	書 (良寛語)	●	1991年	墨、紙	寄託品
43	書 (良寛語)	松田正平	1991年	墨、紙	寄託品
44	三好正直宛書状・はがき				
45	装幀書 吉田健一『日本について』				

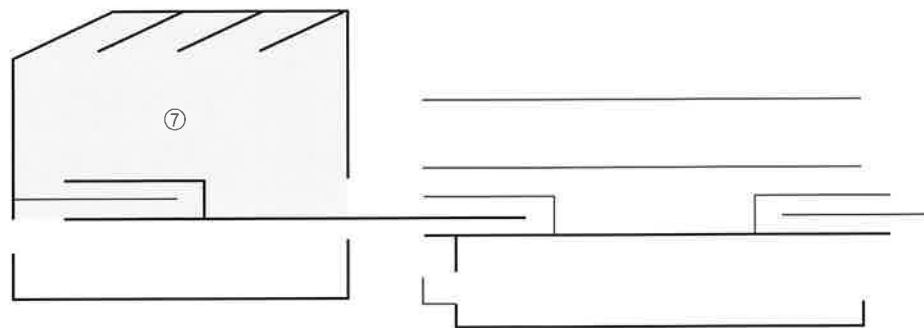
展示室C



京の美人画 梶本武雄 2010年3月2日～4月4日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	湖畔の女	梶本武雄	大正期	絹本着色	額装	一面	
2	化粧	梶本武雄	大正期	絹本着色	額装	一面	
3	梳る女	梶本武雄	大正期	絹本着色	額装	一面	
4	麗人の像	梶本武雄	1925 (大正14) 年	絹本着色	額装	一面	
5	腰掛ける婦人	梶本武雄	大正～昭和期	絹本着色	額装	一面	
6	阿国	梶本武雄	1929 (昭和4) 年	絹本着色	額装	一面	
7	雪姫	梶本武雄	1930 (昭和5) 年	絹本着色	額装	一面	
8	夕月	梶本武雄	1933 (昭和8) 年	絹本着色	額装	一面	
9	雨上り	梶本武雄	昭和期	絹本着色	額装	一面	
10	おふね	梶本武雄	1927 (昭和2) 年	絹本着色	額装	一面	
11	童女	梶本武雄	1927 (昭和2) 年	絹本着色	額装	一面	
12	畷花	梶本武雄	大正期	絹本着色	額装	一面	

展示室D

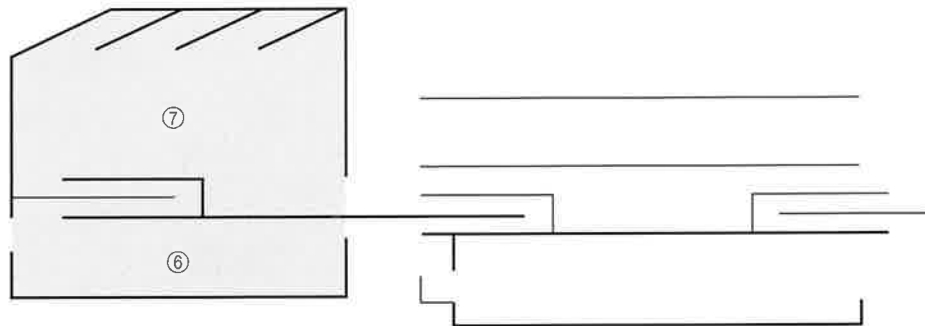


プライベートな視線 2010年3月2日～4月4日

番号	作品	作者	製作年	材質	備考
01	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
02	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
03	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
04	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
05	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
06	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
07	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
08	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
09	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
10	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
11	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
12	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
13	『洋子』	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァー・プリント	

91	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
92	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
93	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
94	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
95	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
96	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
97	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
98	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
99	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
100	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
101	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
102	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
103	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
104	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント
105	【SELF AND OTHERS】	牛腸茂雄	1977	ゼラチン・シルヴァー・プリント

展示室C・展示室D



日本画の江戸と明治 森寛齋 2009年4月14日～5月24日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	森寛齋像	鈴木松年	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
2	森寛齋像	森雄山	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
3	京人形図	森寛齋	明治18 (1885) 年	絹本着色	掛幅装	一幅	
4	松林瀑布山水図	森寛齋	明治1 (1868) 年	紙本墨画	掛幅装	一幅	
5	芥川図	森寛齋	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
6	源義家像	森寛齋	明治18 (1885) 年	紙本着色	掛幅装	一幅	
7	葡萄とりす	森寛齋	明治15 (1882) 年	紙本墨画	掛幅装	一幅	
8	萩羊の図	森寛齋	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
9	京都騒動図巻	森寛齋	19世紀	紙本墨画淡彩	卷子装	一卷	
10	手長猿図	森狙仙	19世紀初	絹本着色	掛幅装	一幅	
11	雪景山水図	森徹山	天保10 (1839) 年	絹本着色	掛幅装	一幅	
12	月下狸図	森徹山	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
13	水呑虎図	森徹山	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
14	森徹山像	森寛齋	明治6 (1873) 年	絹本着色	掛幅装	一幅	
15	紅葉に牧童図	森一鳳	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
16	熊図	森一鳳	19世紀	絹本着色	掛幅装	一幅	
17	山水図屏風	円山応震	19世紀前半	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双	
18	山水図屏風	森寛齋	19世紀前半	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一双	
19	山水縮図巻	三宅西浦	19世紀	紙本墨画	卷子装	一卷	
20	風景写生図巻	森寛齋	弘化4 (1847) 年	紙本墨画淡彩	卷子装	一卷	
21	猿猴図屏風	森周峰	19世紀	紙本着色	二曲屏風	一隻	
22	牧童図屏風	森周峰	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	四曲屏風	一隻	寄託品
23	龍虎図屏風	森寛齋	嘉永1 (1848) 年	紙本着色	八曲屏風	一双	
24	花鳥図屏風	森寛齋	19世紀	紙本墨画淡彩	四曲屏風	一双	寄託品
25	巖上鷲図屏風	森寛齋	19世紀	紙本金地著色	六曲屏風	一隻	寄託品

現代美術の4つの絵画 2009年6月19日～7月20日

(1) 趣旨

戦後日本美術史上の節目に描かれた4つの絵画、利根山光人〈復興〉、田中稔之〈野性〉、松澤宥〈ハガキ絵画〉、荒瀬景敏〈主義と利益はしばしば衝突する〉を核にして現代美術の流れを山口県立美術館のコレクションを中心に概観する。

(2) カタログ

この展示にあたり、美術館と大学との連携事業の試みとして、山口大学人文学部准教授藤川哲氏の協力を得て少数印刷（オンデマンド印刷）によるA4変形判101ページの図録及びA4判チラシを作成した。図録の発行部数は、会場閲覧用2冊、美術館保存用1冊、大学保存用1冊の計4冊である。図録掲載の作品解説には、27名の山口大学生・大学院生があたった。



図録

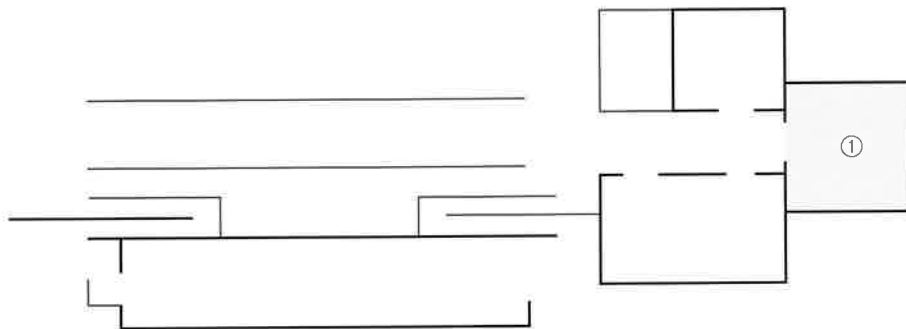
チラシ

(3) 出品目録

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1. 戦後：原点からの出発					
1	復興	利根山光人	1954	油彩・キャンバス	
2	濁	中本達也	1958	油彩・キャンバス	
3	洪水	中本達也	1956	油彩・キャンバス	
4	ピカドン：妻の死	福島菊次郎	1951	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
5	ピカドン：8年目の病床	福島菊次郎	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
6	ピカドン：7度目の入院	福島菊次郎	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
7	ピカドン：27歳になった蓉子	福島菊次郎	1969	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
8	怒髪天をつく	桂ゆき	1953	油彩・キャンバス	
9	しっぽの出た狐	桂ゆき	1954	油彩・キャンバス	
10	蚊帳	小野具定	1949	紙本彩色	
11	働く人	朝倉拱	1952	紙本彩色	
12	トルソ	中野四郎	1951	ブロンズ	
2. アンフォルメルショック					
13	動	田中稔之	1958	油彩・キャンバス	
14	野性	田中稔之	1960	油彩・キャンバス	
15	リンチ	桜井孝身	1958	ペンキ・アスファルト・プラスティック・釘・針金・絵具チューブ・金網	福岡市美術館蔵
16	凍れるシベリアにて	岩崎巴人	1964	紙本彩色	
17	Work	楠田信吾	1963	塗料・顔料・板	
18	黒い西日	星野真吾	1966	紙本彩色	個人蔵
19	a	野村耕	1963	紙型・塗料・板	
20	王国：沈黙の園#5	奈良原一高	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
21	王国：沈黙の園#45	奈良原一高	1958	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
22	王国：壁の中#3	奈良原一高	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
23	王国：壁の中#17	奈良原一高	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
24	漂流	豊福知徳	1958	木	
25	無題（裸婦抽象）	河内山賢祐	1962	ブロンズ	
26	トルソ	植木茂	1958	木	
3. オブジェを消せ！：既成概念を超えて					
27	ハガキ絵画	松澤宥	1967-68	ハガキ	
28	松澤宥・プサイの箱	松澤宥	1983	印刷物	
29	「狩人」より	森山大道	1968-71	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
30	「狩人」より	森山大道	1968-71	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
31	「狩人」より	森山大道	1968-71	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
32	「狩人」より	森山大道	1968-71	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
33	平面上の形2	椿義則	1971	油彩・キャンバス	
34	PEINTURE 絵画	井川惺亮	1978	アクリル・布	

35	PEINTURE 絵画	井川惺亮	1981	アクリル・布
36	30cmの間隔で規則正しく繰り返される50番の絵筆の痕跡	ニエーレ・トローニ	1992	アクリル・キャンバス
37	日記1968年5月15日	野田哲也	1968	シルクスクリーン・木版・紙
38	フォードと郭 (B)	郭徳俊	1974	リトグラフ
39	Seeing p&l-11	小本章	1981	オフセット
40	作品1	殿敷侃	1981	新聞紙・シルクスクリーン
41	点字A	田中米吉	1965	アルミ板・ラッカー
42	カミガミトモガミ	最上寿之	1979	木
43	A STREET SCENE No.13	吉村芳生	1978	紙・インク
44	ラブ	三輪龍作	1969	陶器
4. ニューペインティングの登場：迷路からの開放				
45	主義と利益はしばしば衝突する	荒瀬景敏	1982	アクリル・キャンバス
46	無題	長谷川繁	1994	油彩・キャンバス
47	The Four Doors #2	マコト・フジムラ	1994	麻紙・箔・彩色・パネル
48	アウグスト広場、ローマ	トマス・シュトルート	1984	モノクロ写真
49	カールトン通り、エディンバラ	トマス・シュトルート	1985	モノクロ写真
50	ヘルダー・ブリュッケン通り、ドルムント	トマス・シュトルート	1986	モノクロ写真
51	Lime Works LW35508	畠山直哉	1993	カラー写真
52	Lime Works LW39316	畠山直哉	1993	カラー写真
53	残像	ウーライ	1996	カラー写真
54	残像	ウーライ	1996	カラー写真
55	スモークの中のブルース、ソルフェラ、ポツォーリ、イタリ	ナン・ゴールディン	1995	チバクローム
56	浜辺で笑うパヴェル、ポストチャーノ、イタリ	ナン・ゴールディン	1996	チバクローム
57	デイヴィッド、私のベッドにて、ヴォルフスブルク、ドイツ	ナン・ゴールディン	1997	チバクローム
58	Wind of Gray	濱野邦昭	1980	ブロンズ
59	逃れゆく思念	深井隆	1986	木・金箔
60	Unidentified Flying Object	松井紫郎	1984	真鍮・アルミ・大理石

2010年度（平成22年度） 展示室A（香月泰男室）



コレクション展小企画 永地秀太と近代の洋画 2010年4月13日～6月13日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	鴨	高橋由一	1877	油彩、カンヴァス	
2	少年像	永地秀太		油彩・カンヴァス	
3	少女像	永地秀太		油彩、カンヴァス	
4	婦人像	永地秀太		油彩、カンヴァス	
5	静物	永地秀太		油彩、カンヴァス	
6	静物	永地秀太	1909	油彩、カンヴァス	
7	静物	永地秀太	1924	油彩、カンヴァス	
8	絞り	永地秀太	1913	油彩、カンヴァス	
9	更紗の前	永地秀太	1924	油彩、カンヴァス	
10	壁に倚れる女	永地秀太	1925	油彩、カンヴァス	
11	ギリシアの浮彫	永地秀太	1937	油彩、カンヴァス	
12	踊り子	桑重儀一		油彩、カンヴァス	寄託品
13	おどけ役者	桑重儀一	1933	油彩、カンヴァス	
14	ホノルル	桑重儀一	1915	油彩、カンヴァス	
15	牧場風景	桑重儀一	1940	油彩、カンヴァス	

コレクション展小企画 中本達也の人物像 2010年6月15日～8月22日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	洪水	中本達也	1956	油彩、キャンバス	
2	憩える魚人	〃	1957	油彩、キャンバス	
3	魚人	〃	1958	油彩、キャンバス	
4	渴	〃	1958	油彩、キャンバス	
5	残された壁（祭壇）	〃	1967	油彩、紙、キャンバス	

6	残された壁 (女)	中本達也	1967	油彩、紙、キャンバス
7	残された壁 (女と男) C	〃	1967	油彩、紙、キャンバス
8	残された壁 (人間断片A)	〃	1967	油彩、紙、キャンバス
9	人間の扉	〃	1967	油彩、キャンバス
10	人間の邑	〃	1968	リトグラフ、紙

コレクション展小企画 何モカイトナイ絵? 抽象画への招待 2010年9月16日~10月11日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	凍る土	宮崎進	1985-86	油彩、カンヴァス	
2	復興	利根山光人	1954	油彩、カンヴァス	
3	潑潑	野村耕	1959	ミクスト・メディア	
4	変異の空間	三上誠	1962	ミクスト・メディア	
5	赤の地平	田中稔之	1976	油彩、カンヴァス	
6	Two Forms	桂ゆき	1961	油彩、カンヴァス	
7	83-105-2	服部碩夫	1983	油彩、カンヴァス	
8	DOOR MT	山本直彰	1913	ミクスト・メディア	

コレクション展小企画 殿敷侃 2010年10月27日~12月12日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	釋寛量信士 (シャツ)	殿敷侃	1979年	油彩・カンヴァス	
2	釋妙昭信女A (じゅばん)	〃	1978年	油彩・カンヴァス	寄託品
3	作品 (新聞)	〃	1981年	シルクスクリーン・新聞紙	
4	作品1	〃	1981年	シルクスクリーン・新聞紙	
5	作品2	〃	1981年	シルクスクリーン・新聞紙	
6	作品3	〃	1981年	シルクスクリーン・新聞紙	
7	作品4	〃	1981年	シルクスクリーン・新聞紙	
8	作品5	〃	1981年	シルクスクリーン・新聞紙	
9	カプト	〃	1980年以前	シルクスクリーン・紙	
10	ハクサイ	〃	1981年頃	シルクスクリーン・紙	
11	ノコ	〃		エッチング・紙	
12	クシ	〃	1981年頃	エッチング・紙	
13	線の集積	〃	1984年	鉛筆・紙	

コレクション展小企画 日本人の油絵 松田正平 2011年1月8日~2月27日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	自画像	松田正平	1955年	油彩・カンヴァス	寄託品
2	裸婦	〃	1938年	油彩・カンヴァス	寄託品
3	裸婦	〃	1959年	油彩・カンヴァス	寄託品
4	裸婦	〃	1973年	油彩・カンヴァス	寄託品
5	裸婦	〃	1977年	油彩・カンヴァス	
6	周防灘	〃	制作年不詳	油彩・カンヴァス	寄託品
7	周防灘	〃	1974年	油彩・カンヴァス	寄託品
8	鷺	〃	1978年	油彩・カンヴァス	寄託品
9	ニンニクとピーマン	〃	1962年	油彩・カンヴァス	寄託品
10	四国犬	〃	1979年	油彩・カンヴァス	寄託品
11	オヒョウ (大きな魚)	〃	1984年	油彩・カンヴァス	
12	大威徳明王	〃	1975年	油彩・カンヴァス	

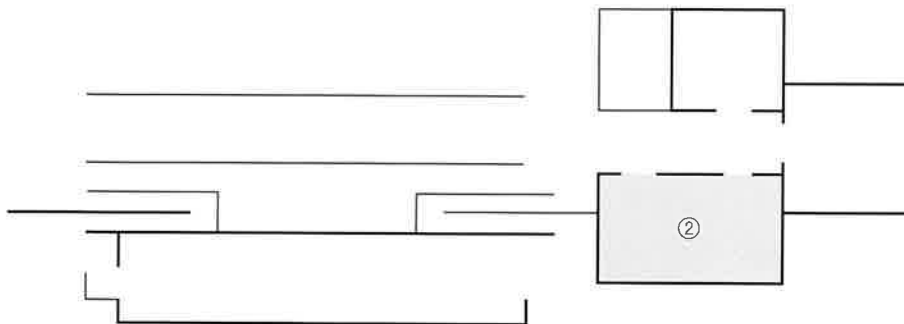
*本展示は、当初の予定であった香月泰男室に施設補修の必要が生じたため、展示室Aのうちの小林和作室、郷土工芸室等を利用して展示を行った。

コレクション展小企画 宮崎進の戦後 2011年3月2日~5月8日

番号	作品	作者	制作年代	材質	備考
1	旅芸人	宮崎進	1960年代後半	油彩・カンヴァス	
2	小屋	〃	1968年	油彩・カンヴァス	
3	夜	〃	1968年	油彩・カンヴァス	
4	ランドスケープ	〃	1976年	油彩・カンヴァス	
5	昼	〃	1976年	油彩・カンヴァス	
6	凍る土	〃	1985-86年	油彩・カンヴァス	

*本展示は、当初の予定であった香月泰男室に施設補修の必要が生じたため、展示室Aのうちの小林和作室を利用して展示を行った。

展示室 A (小林和作室)



コレクション展小企画 防府天満宮と明治維新 2010年4月13日～5月9日

平成21年度から、防府天満宮歴史館（宝物館）改修工事のため、当館に寄託中（平成21～23年度）の防府天満宮の文化財の中から、明治維新に関わる遺宝を紹介し、維新の志士たちと防府天満宮および天神信仰との関わりを紹介する。

番号	作品	制作年	材質	備考
1	伝眺天楼戸板志土落書	江戸時代	木板墨書	防府天満宮蔵
2	野村望東尼和歌短冊	慶応三年(1867)	紙本墨書	◆
3	岡本三右衛門和歌短冊	江戸時代	紙本墨書	◆
4	鈴木高綱和歌	江戸時代	紙本墨書	◆
5	毛利慶親和歌懐紙	江戸時代	絹本墨書	◆
6	高杉晋作扇面書	江戸時代	紙本墨書	◆
7	桂小五郎書	江戸時代 安政年間(1854～60)	紙本墨書	◆
8	木戸孝允他寄合画賛	明治9年(1876)	紙本墨画	◆
9	杉孫七郎墨竹図	大正元年(1912)	紙本墨画	◆
10	野村素介書	明治時代	絹本墨書	◆
11	楢取素彦書	明治33年(1900)	紙本墨書	◆
12	品川弥二郎和歌	明治27年(1894)	紙本墨書	◆
13	山県有朋書	明治時代	絹本墨書	◆
14	三条実美書 松崎神社額土代	明治9年(1876)	紙本墨書	◆
15	三条実美書	明治時代	紙本墨書	◆

年間シリーズ企画〈雪舟と雲谷派Ⅰ〉 雲谷派創立 2009年4月14日～5月24日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	山水図屏風	雲谷等顔	16世紀末～17世紀初	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	寄託品
2	山水図屏風	雲谷等益	17世紀前半	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
3	沢庵宗彭賛山水図	雲谷等顔	17世紀初	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
4	澁墨山水図双幅	雲谷等益	17世紀前半	紙本墨画	掛幅装	二幅	寄託品
5	枯木にかわせみ図	雲谷等顔	17世紀初	紙本墨画	掛幅装	一幅	
6	江月宗玩賛梅雀図	雲谷等益	17世紀前半	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品

コレクション展小企画 大内氏と防府天満宮 2010年7月21日～8月22日

山口開府650年記念関連企画。当館に寄託中の防府天満宮の文化財の中から大内氏ゆかりの遺宝を紹介。

番号	作品	制作年	材質	備考
1	松崎天神縁起絵巻写（巻2・巻3部分）	室町時代	紙本着色	防府天満宮蔵（県指定）
2	浅葱糸妻取威鎧 兜付	室町時代	鎧	◆（重文）
3	獅子頭	南北朝時代 正平10年(1355)	木造漆塗	◆（重文）
4	松藤蒔絵文台・硯箱	室町時代	木造漆塗	◆（重文）
5	大内政弘寄進状	室町時代 文明11年(1479)	紙本墨書	◆

年間シリーズ企画〈雪舟と雲谷派Ⅱ〉 雲谷派画題辞典 中国名所 2010年7月21日～8月22日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	西湖金山寺図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
2	西湖金山寺図屏風	雲谷等珠	江戸時代前期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
3	西湖図屏風	雲谷等竺	江戸時代中期	紙本墨画金砂子	六曲屏風	一隻	
4	西湖図屏風	永富等運	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一隻	
5	瀟湘八景図帖	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	画帖	一帖	寄託品
6	瀟湘八景図巻	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	卷子装	一卷	寄託品

コレクション展特別企画 山口の絵図 2010年9月16日～10月11日

番号	作品	制作年	所蔵	備考
1	御兩國洲量絵図	江戸時代後期	山口県文書館	全7図のうち1～3図
2	吉敷郡山口宰判図	江戸時代末期【慶応年間カ】	山口県文書館	
3	山口町村図	文久3年(1863)頃	山口県文書館	
4	幕末山口市街図	江戸末期～明治初頭【文久3年(1863)以降】	山口県文書館	
5	行程記	明和元年(1764)頃	山口県文書館	全25帖のうち1・2帖

年間シリーズ企画〈雪舟と雲谷派Ⅲ〉 雪舟と雪舟流 2010年10月27日～12月12日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状・員数	員数	備考
1	山水図屏風	伝雪舟	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	六曲屏風一雙	一雙	
2	山水図屏風	雲谷派	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	六曲屏風一雙	一雙	
3	雪舟像	雲谷等典	1639年(寛永16)	絹本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
4	東帯天神図	雪舟等楊	1493年(明応2)	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
5	観音図	伝雪舟	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
6	観音図	伝雪舟	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品
7	龍図	伝雪舟	室町～桃山時代	紙本墨画	掛幅装	一幅	寄託品
8	冬景山水図	伝雪舟	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	寄託品

年間シリーズ企画〈雪舟と雲谷派Ⅳ〉 雲谷派画題辞典 故事人物 2011年1月8日～1月30日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状	員数	備考
1	琴棋書画図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本着色	六曲屏風	一雙	
2	林和靖・雪景山水図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
3	懶瓊燒芋図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
4	蛭子和尚図	雲谷等顔	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅装	一幅	
5	陳希夷長睡図	雲谷等爾	江戸時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	三幅対のうちの幅
6	陶淵明愛菊図	雲谷等爾	江戸時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅装	一幅	
7	寒山拾得図	雲谷等爾	江戸時代前期	絹本着色	掛幅装	二幅	

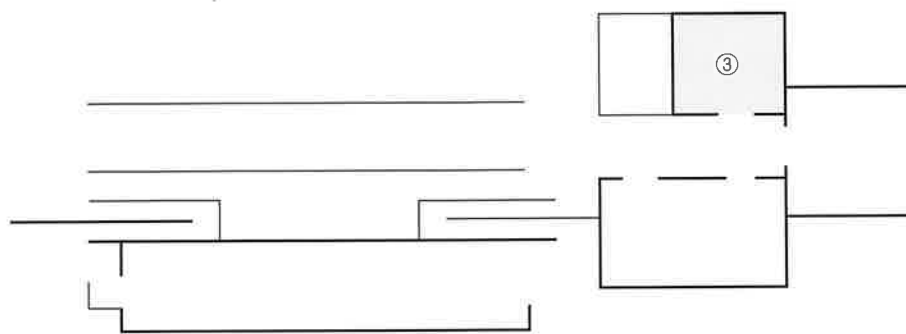
年間シリーズ企画〈雪舟と雲谷派Ⅴ〉 寛永の巨匠 雲谷等益 2011年2月1日～2月27日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状・員数	員数	備考
1	山水図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
2	山水図屏風	〃	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	六曲屏風	一雙	
3	林和靖・山水図三幅対	〃	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	掛幅	三幅	
4	達磨図	〃	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅	一幅	
5	鶉図	〃	江戸時代初期	絹本着色	掛幅	一幅	寄託品
6	茄子図	〃	江戸時代初期	紙本墨画	掛幅	一幅	寄託品

コレクション展小企画 日本画の戦後 2011年3月2日～5月8日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	凍れるシベリアにて	岩崎巴人	1964	紙本着色	
2	水芭蕉曼陀羅・黄14	佐藤多持	1968	紙本墨画着色	
3	日本1958-2	朝倉拱	1958	紙本着色	
4	WORK	楠田伸吾	1963	ミクストメディア	
5	澆澆	野村 耕	1959	ミクストメディア	
6	見物人	水谷勇夫	1960	紙本着色	

展示室 A (郷土工芸室)



コレクション展小企画 金工と赤間硯 2010年4月13日～6月13日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	切嵌象嵌接合せ長皿「翔雅」	山本晃	1993	金、銀、銅及びその合金	
2	接合せ箱「草叢」	〃	1997	〃	
3	接合せ箱「紡」	〃	1997	〃	
4	切嵌象嵌接合せ鉢「巖」	〃	1997	〃	
5	接合せ短冊箱「紡」	〃	1999	〃	
6	接合せ箱「麦秋」	〃	1999	〃	
7	銀四分一赤銅接合せ箱「青響」	〃	2000	〃	
8	接合せ箱「山背」	〃	2004	〃	
9	赤間硯「累柿研」	堀尾卓司	1950	石	
10	赤間硯「おしべ」	〃	1957	〃	

11	赤間硯「豊麗」	堀尾卓司	1959	石
12	赤間硯「ビルディング」	＊	1970	＊
13	赤間硯「双体」	＊		＊
14	赤間硯「蘭花研」	＊	1956	＊
15	赤間硯「すみすり」	＊	1979	＊
16	長方研	堀尾信夫	1998	＊
17	瓜硯	＊	1985	＊

コレクション展小企画 人のかたち 2010年6月15日～7月19日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	虚無	戸張孤雁	1920	ブロンズ	
2	潮風に立つ	堀義二	1924	＊	寄託品
3	測（エスキース）	中野四郎	1957	＊	
4	トルソ	＊	1951	＊	
5	永遠	＊	1953	＊	
6	或る日	＊	1944	木	
7	道	伊藤鈞	1973	ブロンズ	
8	〈男性肖像〉	河内山賢祐	1934	石膏	
9	〈女性肖像〉	＊	1952	＊	
10	〈裸婦抽象〉	＊	-	＊	
11	ボッカ	植木茂	1943	木	
12	トルソ	＊	1963頃	＊	
13	衣	＊	1963	鉄	
14	椅子	＊	1970	＊	
15	マスク	澄川蕊一	1977	木	

コレクション展小企画 植木茂 I 2010年9月16日～10月11日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	トルソ	植木茂	1947	木	
2	ボッカ	＊	1943	＊	
3	衣	＊	1963頃	鉄	
4	作品	＊	1968	ブロンズ	
5	作品	＊	1970	鉄	
6	連	＊	1971	木	
7	体	＊	1978	＊	
8	トルソ	＊	1963頃	＊	
9	兔小屋の住人	＊	1979以前	＊	
10	トルソ	＊	1983	＊	
11	トルソ	＊	1978頃	＊	
12	体	＊	1976頃	＊	
13	作品	＊	1970頃	＊	
14	作品	＊	1971頃	＊	
15	漂船	＊	1975	＊	

吉村芳生展関連展示 山口県立山口図書館による 明治・大正・昭和の新聞 2010年10月27日～12月12日

新聞紙面を書き写すなどの手法で作品を制作する吉村芳生の企画展と関連させ、過去の新聞を紹介するという企画。現在は廃刊となった「馬関毎日新聞」と「防長新聞」の1907（明治40年）年から1942（昭和17）年までの新聞を紹介する。

番号	新聞名	主な記事	備考
1	防長新聞 明治40年（1907）9月17日	山口県下における酒造業について	山口県立山口図書館蔵
2	防長新聞 明治40年（1907）10月22日	新聞広告	＊
3	防長新聞 明治40年（1907）11月26日	松陰神社	＊
4	防長新聞 明治40年（1907）12月11日	錦帯橋	＊
5	馬関毎日新聞 明治42年（1909）年10月28日	伊藤博文暗殺	＊
6	馬関毎日新聞 明治42年（1909）年11月1日	伊藤博文暗殺関連記事	＊
7	防長新聞 明治43年（1910）8月25日	韓国併合	＊
8	防長新聞 明治43年（1910）8月30日	韓国併合	＊
9	防長新聞 明治43年（1910）8月31日	韓国併合と防長	＊
10	馬関毎日新聞 明治45年（1912）3月25日	宮市天神（防府天満宮）	＊
11	馬関毎日新聞 明治45年（1912）4月2日	赤間神宮	＊
12	馬関毎日新聞 明治45年（1912）4月9日	防長教育博物館（現：山口県立山口博物館）開館	＊
13	防長新聞 大正3年（1914）8月25日	日本、ドイツに対して宣戦布告し、第一次世界大戦に参戦	＊
14	防長新聞 大正3年（1914）11月7日	新聞広告等	＊
15	防長新聞 大正3年（1914）11月10日	日本、第一次世界大戦に参戦。ドイツ租借地青島を占領。	＊
16	馬関毎日新聞 大正5年（1916）11月20日	山口県庁舎（現：山口県政資料館）完成	＊
17	馬関毎日新聞 大正5年（1916）11月21日	山口県庁舎（現：山口県政資料館）	＊
18	馬関毎日新聞 大正7年（1918）8月17日	米騒動に対する記事掲載自粛の勧告	＊
19	馬関毎日新聞 大正7年（1918）8月20日	宇部の米騒動	＊
20	馬関毎日新聞 大正7年（1918）8月25日	新聞広告等	＊
21	防長新聞 大正12年（1923）9月3日	関東大震災発生	＊
22	防長新聞 大正12年（1923）9月6日	関東大震災（9/1発生）義援金募集広告	＊
23	防長新聞 大正12年（1923）9月8日	関東大震災（9/1発生）関連。義援金募集広告	＊
24	馬関毎日新聞 大正15年（1926）8月28日	新聞広告等	＊

25	馬関毎日新聞	大正15年(1926)9月4日	秋吉村瀧穴を、秋芳洞と改称	山口県立山口図書館蔵
26	防長新聞	大正15年(1926)10月16日	ザベリヨ遺跡記念碑(ザビエル記念碑)除幕式	◆
27	防長新聞	大正15年(1926)10月17日	ザベリヨ遺跡記念碑(ザビエル記念碑)除幕式	◆
28	馬関毎日新聞	昭和3年(1928)2月20日	第一回普通総選挙	◆
29	馬関毎日新聞	昭和3年(1928)2月24日	日本銀行 国債償還当籤公告	◆
30	馬関毎日新聞	昭和3年(1928)2月25日	第一回普通総選挙 当選者	◆
31	馬関毎日新聞	昭和8年(1933)9月4日	五・一五事件の被告減刑嘆願	◆
32	馬関毎日新聞	昭和8年(1933)9月5日	五・一五事件の被告減刑嘆願	◆
33	馬関毎日新聞	昭和8年(1933)10月19日	長府尊攘堂(現:下関市立長府博物館)設立	◆
34	防長新聞	昭和14年(1939)1月24日	山口県下のスキー場	◆
35	防長新聞	昭和14年(1939)2月7日	亀山公園	◆
36	防長新聞	昭和17年(1942)1月26日	廃刊の社告(1/30に廃刊)	◆
37	防長新聞	昭和17年(1942)1月29日	廃刊の社告(1/30に廃刊)	◆
38	防長新聞	昭和17年(1942)1月30日	防長新聞廃刊(一県一紙の新聞事業令による)	◆

※会期中随時展示替えを行った。

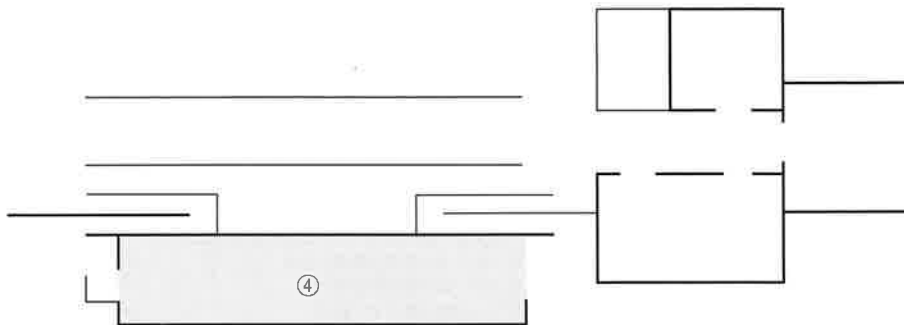
コレクション展小企画 植木茂II 2011年1月8日～2月27日

番号	作品	作者	制作年	材質	備考
1	トルソ	植木茂	1963頃	木	
2	〃	〃	1954	〃	
3	〃	〃	1945～55頃	〃	
4	〃	〃	1947	〃	
5	〃	〃	1954	〃	
6	仏頭	〃	1954頃	〃	
7	トルソ	〃	1959	〃	
8	〃	〃	1981	〃	
9	〃	〃	1958	〃	
10	〃	〃	1963頃	〃	
11	〃	〃	c.1970	〃	
12	〃	〃	1958	〃	
13	〃	〃	c.1963	〃	
14	〃	〃	1979以前	〃	
15	体	〃	1976	〃	

コレクション展小企画 絵付けされた陶器 2011年3月2日～5月8日

番号	作品	作者	年代	材質	備考
1	萩湯ざまし	高島北海絵付	不詳	陶	
2	由布岳	小林和作絵付	〃	〃	
3	富士山	小林和作絵付	〃	〃	
4	富士山	小林和作絵付	〃	〃	
5	富士山	小林和作絵付	〃	〃	
6	波と燕	小林和作絵付	〃	〃	
7	春の花	小林和作絵付	〃	〃	
8	きつつき	小林和作絵付	〃	〃	
9	小石原絵付皿	藤田隆治絵付	〃	〃	
10	小石原絵付壺	藤田隆治絵付	〃	〃	
11	菊図絵皿	香月泰男絵付	〃	〃	
12	麦図絵皿	香月泰男絵付	〃	〃	
13	萩台鉢(山桃)	香月泰男絵付	1955	◆	
14	かっぱ	三好正直絵付	不詳	◆	

展示室B



コレクション展特別企画 旅ニデヨウ 2010年4月13日～6月13日

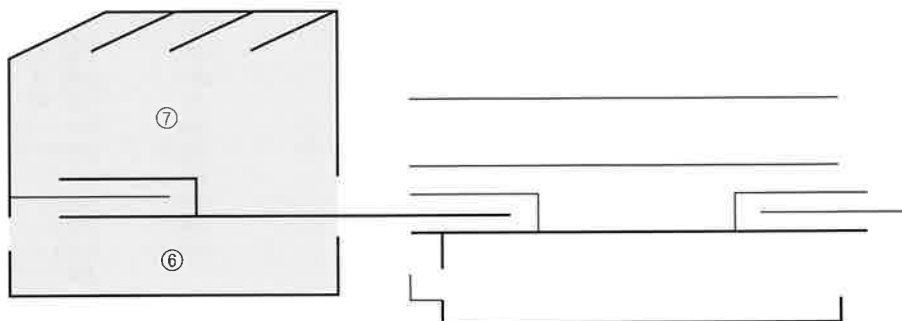
番号	作家名	作品名	制作年	技法
		作品名 前期(4/13-5/9)		
1	尾崎正章	舳先	作品名 後期(4/11-6/13)	油彩・カンヴァス
		舳先		

2	林武	ノートルダム	ノートルダム	1977	水彩・紙
3	永地秀太	風景	風景	1922	油彩・カンヴァス
4	香月泰男	石版画集「パリの屋根」	石版画集「パリの屋根」	1971	石版・紙
5	香月泰男	石版画集「パリの屋根」	石版画集「パリの屋根」	1971	石版・紙
6	香月泰男	石版画集「パリの屋根」	石版画集「パリの屋根」	1971	石版・紙
7	香月泰男	石版画集「パリの屋根」	石版画集「パリの屋根」	1971	石版・紙
8	香月泰男	石版画集「パリの屋根」	石版画集「パリの屋根」	1971	石版・紙
9	川原舜	7月14日のシャンゼリゼ パリ	7月14日のシャンゼリゼ パリ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
10	川原舜	7月14日のシャンゼリゼ パリ	7月14日のシャンゼリゼ パリ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
11	川原舜	モンマルトル パリ	モンマルトル パリ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
12	川原舜	モンマルトル パリ	モンマルトル パリ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
13	川原舜	プロワ	プロワ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
14	川原舜	プロワ	プロワ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
15	大津鎮雄	モレーの流れ	モレーの流れ		油彩・カンヴァス
16	小林和作	エクス風景	エクス風景	1929	油彩・カンヴァス
17	香月泰男	木版画集「ニース」 海辺にて	木版画集「ニース」	1974	木版・紙
18	香月泰男	木版画集「ニース」 ルノアールの庭	木版画集「ニース」	1974	木版・紙
19	香月泰男	木版画集「ニース」 ニース	木版画集「ニース」	1974	木版・紙
20	香月泰男	木版画集「ニース」 サンポーロ	木版画集「ニース」	1974	木版・紙
21	西山英雄	フロレンスタ映	フロレンスタ映		紙本彩色
22	川原舜	トスカーナ	フィレンツェ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
23	川原舜	トスカーナ	フィレンツェ	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
24	小林和作	カプリ島	カプリ島	1928	油彩・カンヴァス
25	山脇信徳	カプリ島風景	カプリ島風景		油彩・カンヴァス
26	福田勝治	イタリア紀行 カプリの居酒屋	イタリア紀行 ポポロ広場の噴水	1955	ゼラチン・シルバー・プリント
27	福田勝治	イタリア紀行 ボンベイにて	イタリア紀行 足(古代ローマの遺跡)	1955	ゼラチン・シルバー・プリント
28	福田勝治	イタリア紀行	イタリア紀行	1955	ゼラチン・シルバー・プリント
29	福田勝治	イタリア紀行 夜のサン・マルコ聖堂	イタリア紀行 夜のサン・マルコ聖堂	1955	ゼラチン・シルバー・プリント
30	香月泰男	石版画集「ギリシャ」 クレタ村	石版画集「ギリシャ」	1972	石版・紙
31	香月泰男	石版画集「ギリシャ」 リンドス	石版画集「ギリシャ」	1972	石版・紙
32	香月泰男	石版画集「ギリシャ」 ロードスの裏街	石版画集「ギリシャ」	1972	石版・紙
33	香月泰男	石版画集「ギリシャ」 ロードス郊外	石版画集「ギリシャ」	1972	石版・紙
34	香月泰男	石版画集「ギリシャ」 ロードスの修道院	石版画集「ギリシャ」	1972	石版・紙
35	桑重儀一	トレド風景	トレド風景	1911	油彩・カンヴァス
36	川原舜	トレド	トレド	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
37	川原舜	トレド	トレド	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
38	川原舜	トレド	トレド	1954-55	ゼラチン・シルバー・プリント
39	トーマス・シュトゥールト	デュッセル通り、デュッセルドルフ	デュッセル通り、デュッセルドルフ	1979	ゼラチン・シルバー・プリント
40	トーマス・シュトゥールト	ヘルダー・ブリュッケン通り、ドルトムント	ヘルダー・ブリュッケン通り、ドルトムント	1986	ゼラチン・シルバー・プリント
41	岩崎鐸	山嶺	山嶺	1913	紙本彩色
42	アンセル・アダムス	ハーフ・ドーム、マーセド川、冬、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	冬の日の出、シエラ・ネヴァダ山脈、カリフォルニア、ローン・パインより	1944	ゼラチン・シルバー・プリント
43	アンセル・アダムス	テナヤ湖、コンネス山、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	冬の嵐の暗れ間、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	1946頃	ゼラチン・シルバー・プリント
44	アンセル・アダムス	夕方の雲と池、シエラ・ネヴァダ山脈東麓、オーウェンス渓谷、カリフォルニア	ゴースト・ランチ・ヒルズ、チャマ渓谷、ニューメキシコ北部	1962頃	ゼラチン・シルバー・プリント
45	雲谷等益	樓閣山水図		江戸時代	紙本墨画淡彩
46	等之		西湖金山寺図屏風		紙本墨画淡彩
47	山岡山泉	雪舟筆山水長巻模写	雪舟筆山水長巻模写		紙本墨画淡彩
48	小林和作	高千穂附近	妙高山		水彩・紙
49	小林和作	霧島山不動池	尾道吉和		水彩・紙
50	小林和作	志賀高原熊ノ湯	室戸岬		水彩・紙
51	小林和作	九重山中	湯原湖		水彩・紙
52	小林和作	川俣温泉附近	川俣温泉附近		水彩・紙
53	小林和作	比婆山	伊豫久万		水彩・紙

コレクション展特別企画 吉祥の花鳥画 2011年1月8日～2月27日

番号	作品	作者	製作年代	材質	形状・員数	備考
1	四季花鳥図屏風	狩野松栄	桃山時代	紙本墨画著色	六曲屏風一雙	
2	牡丹図屏風	雲谷等恕	江戸時代中期	紙本墨画著色	六曲屏風一雙	寄託品
3	鯉図屏風	雲谷等益	江戸時代初期	紙本墨画著色	四曲屏風一雙	
4	芙蓉図	曾我二直庵	江戸時代初期	紙本墨画著色	掛幅一幅	
5	雪中松鳩竹雀図	小田海徳	江戸時代後期	絹本着色	掛幅二幅	
6	梅花薔薇小禽図	菅江嶺	江戸時代後期	絹本着色	掛幅一幅	寄託品
7	梅にかささぎ	兼重暗香	1930(昭和5)年	絹本着色	掛幅一幅	
8	雨後図	松林桂月	1955(昭和30)年	絹本墨画淡彩	掛幅一幅	寄託品
9	霧こむる野分	福田翠光	1955(昭和30)年	絹本着色	掛幅一幅	

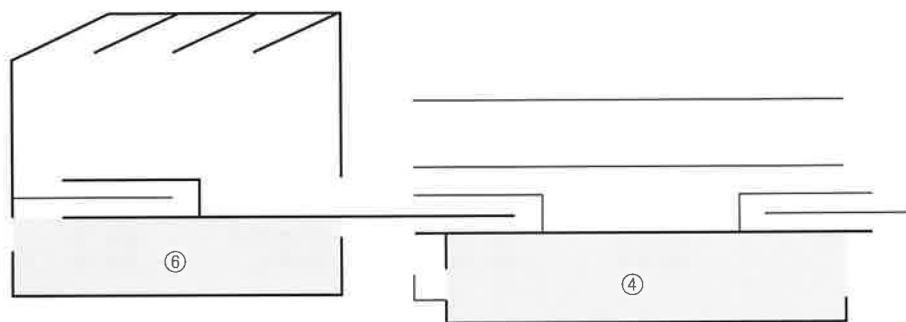
展示室C・展示室D



コレクション展特別企画 日本画の明治維新 森寛斎と狩野芳崖 2010年4月13日～5月16日

番号	作者	作品	制作年代	形状	員数	備考
1	森寛斎	芥川図	明治前期	掛幅装	一幅	
2	狩野芳崖	懸崖飛沫図	1880年代	掛幅装	一幅	
3	森寛斎	松林瀑布山水図	1868(明治1)年	掛幅装	一幅	
4	狩野芳崖	呂洞賓鉄拐図	明治初期	掛幅装	一幅	
5	狩野芳崖	羅漢図	幕末明治期	掛幅装二幅	二幅	
6	狩野芳崖	月夜山水図	幕末期	掛幅装	一幅	
7	狩野芳崖	湖畔漁舟図	幕末明治期	掛幅装	一幅	寄託品
8	狩野芳崖	雪山山水図	幕末明治期	掛幅装	一幅	
9	狩野芳崖	青砥藤網滑川拾銭図	幕末明治期	掛幅装	一幅	
10	狩野芳崖	牧馬図	幕末明治期	掛幅装	一幅	
11	森寛斎	巖上鶯図屏風	幕末明治期	屏風六曲一隻	一隻	寄託品
12	狩野芳崖	八臂弁才天図	1857(安政4)年頃	掛幅装	一幅	
13	森寛斎	京人形図	1885(明治18)年	掛幅装	一幅	
14	森寛斎	源義家像	1885(明治18)年	掛幅装	一幅	
15	森狙仙	手長猿図	江戸後期	掛幅装	一幅	
16	森徹山	月下狸図	江戸後期	掛幅装	一幅	
17	森徹山	水呑虎図	江戸後期	掛幅装	一幅	
18	森一鳳	紅葉に牧童図	江戸末期	掛幅装	一幅	
19	森一鳳	熊図	江戸末期	掛幅装	一幅	
20	森寛斎	葡萄とりす図	1882(明治15)年	掛幅装	一幅	
21	森寛斎	萩羊の図	幕末明治期	掛幅装	一幅	
22	狩野晴草	風雪三顧図	江戸後期	屏風二曲一隻	一隻	寄託品
23	狩野芳崖	公孫樹と啄木鳥	幕末明治期	掛幅装	一幅	
24	狩野芳崖	梅月図	幕末明治期	掛幅装	一幅	
25	森寛斎	京都騒動図巻	幕末明治期	卷子装	一卷	
26	森寛斎	写生図巻	幕末明治期	卷子装	一卷	
27	三宅西甫	山水画法図巻	幕末明治期	卷子装	一卷	
28	狩野芳崖	士農工商図	明治初期	掛幅装四幅	四幅	
29	狩野芳崖	四季耕作屏風	幕末期	屏風四曲一隻	一隻	
30	森周峰	猿猴図屏風	江戸後期	屏風二曲一隻	一隻	
31	森寛斎	山水図屏風	1868(明治1)年	屏風六曲一雙	一雙	
32	森寛斎	龍虎図屏風	1848(嘉永1)年	屏風六曲一雙	一雙	

展示室B・展示室C



コレクション展特別企画 水のなかへ 2010年6月15日～8月22日

番号	作品	作者	制作年	技法	前期	後期	備考
1.	水のかたち(展示室C)						
1-1	〈河川〉						
1	高嶺深谷図	高島北海	1916年	絹本墨画着色			○

2	雪舟落款巖上観音図模写	山岡山泉	昭和初期	紙本墨画淡彩	○	
3	上高地 (其三)	小林和作	1926年	油彩、カンヴァス	○	
4	五十鈴川神仙図巻	伝 狩野芳崖	19世紀	紙本墨画淡彩	○	
5	仙峡聴泉図	松林桂月	1929年	紙本墨画		○
6	塞外射狐図	佐々木縮往	1729年	絹本着色		○
1-2	(滝)					
7	長門峡図	松林桂月	1951年	紙本墨画	○	
8	花鳥図屏風	雲谷等鶴	18世紀前期	紙本金地着色	○	
9	瀑布図	狩野常信	江戸前期	絹本墨画淡彩		○
10	夏山瀑布図	小田海樗	1841年	紙本墨画淡彩		○
1-3	(海と波)					
11	怒涛馳鷗図	松林桂月	1897年	絹本着色	○	
12	海	小林和作	1964年	油彩、カンヴァス	○	
13	室戸岬	小林和作		油彩、カンヴァス		○
14	浜松図屏風	狩野探信	江戸中期	紙本着色		○ 寄託品
15	群鶴図	藤田隆治	1952年	紙本着色		○
16	荒れる海	岩崎巴人	1967年	紙本墨画	○	○
1-4	(水面のうつろい)					
17	夕方の雲と池、シエラ・ネヴァダ山脈東麓、オーウェンズ 渓谷、カリフォルニア	アンセル・アダムズ	c.1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	
18	萩の日々：ダムが出来て取り残されたコナラとツブラジイ	下瀬信雄	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	
19	萩の日々：夕風の入り江	下瀬信雄	1992年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	寄託品
20	月島 (隅田川)	福田勝治		ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	
21	浄晟	福田翠光	1953年	紙本着色	○	○
22	寂	福田翠光	1969年	紙本着色	○	○
23	新雪の来る前	三浦俊輔		油彩、カンヴァス	○	○
24	湖底の村	西野新川	1974年	紙本着色	○	○
2.	水と暮らす [展示室B]					
2-1	(水と暮らす)					
25	愛吾廬	松林桂月	1936年	絹本着色	○	
26	春秋山水図屏風	高島北海	1928年	紙本金地着色	○	
27	紺糸を干す	小野竹喬	1912年	絹本着色	○	
28	夜雨図	松林桂月	1962年	絹本墨画	○	寄託品
29	四季人物図	森雄山		紙本墨画	○	
30	唐子遊図	雲谷派	江戸前期	紙本金字着色	○	
31	舟楫	加納三楽	1934年	紙本着色	○	
32	高士観蓮図	小田海樗	江戸後期	絹本着色		○
33	山水図	渡辺了庵	17世紀	紙本墨画淡彩金砂子	○	○
34	雪夜訪友図	不詳	明時代	絹本着色	○	○
35	竹林夜雨図	松林桂月	1962年	紙本墨画	○	寄託品
36	自適帖 (うち第16面)	千種掃雲	1912年頃	紙本着色	○	○
37	雑福図巻写	森寛斎		紙本墨画淡彩	○	○
38	夕月	案本武雄	昭和初期	絹本着色	○	○
39	河内貯水池遠望	藤田隆治	1951年	紙本着色	○	○
40	風景	永地秀太	1922年	油彩、カンヴァス	○	○
41	外国風景	桑重儀一	昭和初期	油彩、カンヴァス	○	○
42	燈台	松田正平	1959年	油彩、カンヴァス	○	○ 寄託品
43	周防灘	松田正平	1980年	油彩、カンヴァス	○	○
44	淀の河州	澤野文臣	1956年	紙本着色	○	○
2-2	(水族館へようこそ！)					
45	鯉図	白石等古	江戸時代	紙本墨画淡彩	○	
46	躍鯉図	檜崎臥香		紙本墨画	○	
47	人影	野長瀬晩花	大正～昭和初期	絹本着色	○	
48	くらげ	藤田隆治		絹本着色	○	
49	写生 (明治20年)	森寛斎	1887年	紙本墨画淡彩	○	
50	静物 (静物)	福田勝治	c.1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	
51	貝殻	香月泰男	1973年	木版、紙	○	
52	あざらし	香月泰男	1970年	石版、紙	○	
53	鯉図	雲谷等竺	江戸時代後期	絹本着色		○
54	鯉図	雲谷等列	江戸時代中期	絹本墨画淡彩	○	寄託品
55	いか	藤田隆治		紙本着色	○	
56	たこ	藤田隆治		絹本着色	○	寄託品
57	下絵・ドローイング	藤田隆治		紙本着色	○	
58	魚介類写生図巻	松林桂月		紙本着色	○	
59	萩の日々：冬になるとぼつぼつと打ち上げられるアオイガイ	下瀬信雄	1992年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	
	イー阿武町・清ヶ浜					
60	ペンギン	香月泰男	1970年	石版、紙	○	
61	雲丹	香月泰男		油彩、カンヴァス	○	○
62	大きな魚	松田正平	1984年	油彩、カンヴァス	○	○
63	海の扉	中本達也	1961年	油彩、カンヴァス	○	○
64	海老と魚	藤田隆治	1963年	紙本着色	○	○
65	有明海	藤田隆治	1961年	紙本着色	○	○
66	格子魚	藤田隆治	1963年	紙本着色	○	○
67	海底のアラバスク	藤田隆治	1950年代前半	紙本着色	○	○
68	静物 (静物)	福田勝治	c.1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	○	○

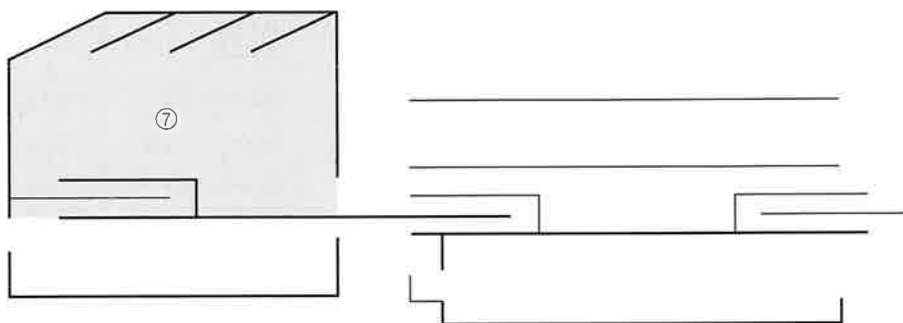
* 前期展示は6/15-7/19、後期展示は7/21-8/22



水のなかへ・ヌード チラシ裏

水のなかへ・ヌード チラシ表

展示室D



コレクション展特別企画 ヌード ー描かれた体、撮られた体ー 2010年6月15日～8月22日

no.	作者	タイトル	素材	制作年
イントロダクション				
1	福田勝治	光の具設	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1949年
第一章 「美しい」体				
2	A. ヒル	沐浴の前	油彩・カンヴァス	1881年
3	永地秀太	壁に倚れる女	油彩・カンヴァス	1925年
4	桑重儀一	裸婦	油彩・カンヴァス	1913年
5	永地秀太	裸婦	油彩・カンヴァス	制作年不詳
6	永地秀太	裸体習作	油彩・カンヴァス	制作年不詳
7	桂節郎	裸体習作	木炭・紙	1912-13年
8	桂節郎	裸体習作	木炭・紙	1912-13年
9	福田勝治	朝の光	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1960年
10	福田勝治	鏡を持てる女	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1963年
11	福田勝治	女神の誕生	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1956年
第二章 形態美の探究				
12	香月泰男	裸婦	油彩・カンヴァス	1931-36年頃
13	松田正平	裸婦	油彩・カンヴァス	1979年
14	松田正平	裸婦	油彩・板	1959年
15	松田正平	裸婦	油彩・カンヴァス	1977年
16	見見勝蔵	女	油彩・カンヴァス	1931年
17	宮崎進	ひざまずく裸婦	鉛筆・紙	制作年不詳
18	福田勝治	裸婦	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1945年頃
19	宮崎進	立つ女	鉛筆・紙	制作年不詳
20	福田勝治	娘嬢	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1951年
21	本庄光朗	光る曲線	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1937年
22	本庄光朗	膝	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1959年
第三章 躍動する身体				
23	本庄光朗	飛行	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1959年
24	中村正也	裸態「若い裸」	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1956年
25	中村正也	裸形「若い裸」	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1957年
26	中村正也	裸婦デッサン「若い裸」	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1959年
27	中村正也	ヤング・ヌード「若い裸」	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1958年
28	本庄光朗	躍	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1959年
29	本庄光朗	ヌード立像A	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1955年
30	本庄光朗	ヌード立像B	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1955年
31	中村正也	裸婦群像「若い裸」	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1962年
32	本庄光朗	マルチストロボ・ヌード	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1959年
33	本庄光朗	ローテーション	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1961年
34	本庄光朗	モーション	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1956年
第四章 プライベートな空間				
35	植田正治	砂丘ヌード	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1950年
36	植田正治	砂丘ヌード	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1949年
37	細江英公	『おとこと女』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1960年
38	細江英公	『おとこと女』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1960年
39	深瀬昌久	『洋子』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1970年頃
40	森山大道	無題	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1969年

41	荒木経惟	『センチメンタルな旅』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1971年
42	深瀬昌久	『洋子』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1974年
43	深瀬昌久	『洋子』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1964-76年
44	深瀬昌久	『洋子』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1964-76年
45	深瀬昌久	『洋子』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1964-76年
46	荒木経惟	『センチメンタルな旅』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1971年
47	荒木経惟	『センチメンタルな旅』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1971年
48	荒木経惟	『センチメンタルな旅』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1971年
49	深瀬昌久	『洋子』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1964-76年
50	荒木経惟	『センチメンタルな旅』	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1971年

事業

II. 教育普及事業

(1) HEART

第3回山口総合芸術文化祭 HEART2009

会 期：2009（平成21）年10月8日(木)～10月25日(日)

会 場：山口市中心市街地（山口県立美術館～一の坂川沿い～山口市商店街）

主 催：HEART2009実行委員会（山口県立美術館、山口県立大学国際文化学部〔文化創造学科〕、山口市中心市街地まちづくり推進協議会、山口市商店街連合会、山口商工会議所、山口県、山口市）、山口県教育委員会
特別協力：エフエム山口



ポスター

チラシ表

チラシ裏

1：第63回山口県美術展覧会（詳細は、別項に記載）

(1) 開催期間 10月8日(木)～10月25日(日)

(2) 総入場者数 6,102人

(3) ワークショップ

ア 自作を語る 入選・入賞者によって 16回実施

イ とよりのアーティスト

ウ 「さかさかさ」

エ 「ぬきえ」

(4) 特別展示 昨年度大賞受賞作家（范叔如）による新作展

(5) 特別展示 「白木靖子絵画展」

【日時】10月8日(木)～10月25日(日)

【会場】純喫茶コティ（米屋町商店街）

【内容】第56回以来、連続して優秀賞、佳作賞を受賞されている白木靖子氏（1940年生まれ、下松市在住）の絵画作品を展示。

(6) 関連企画 「県美展出身作家4受賞作家7人展」

【日時】10月24日(土)～11月3日(火)

【会場】シンフォニア岩国 企画展示ホール

【内容】過去5年間に県美展で大賞、優秀賞を受賞された作家のなかから、県東部在住者を中心に選ばれた7人（大瀬戸照夫、白木靖子、末田浩一、手嶋大輔、村岡典子、山下哲郎、吉村芳生）によるグループ展

2：アート・マート

山口県美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリー、ミュージアム・グッズ、美術図書や絵本の店を開設し、美術館をアートづくりのマート（市場）に変身させる部門。

(1) 県美展作家紹介ギャラリー、美術館セレクトショップ

【日時】10月8日(木)～10月25日(日)

【会場】山口県立美術館ロビー（入場無料）

【内容】第50～63回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち希望者の作品を紹介、販売するほか、ミュージアム・グッズ、美術図書、絵本を販売

(2) 「県美展若手作家絵はがき展」

【日時】10月8日(木)～10月25日(日)

【会場】山口県立美術館～中心商店街（シェフ・茶座・ノーマ・haranaka・キアッケラ・ヴァロン・ドマーニ・井筒屋1階カフェ）

【内容】近年の県美展でめざましい活躍を見せている30代若手作家4人（岡本義朗、笠井太陽、手嶋大輔、中土居律子）によるオリジナル絵はがきを展示、販売。美術館と中心商店街を結ぶラインに点在するカフェやレストランで開催。

(3) 関連企画① 「保手濱拓写真展」（主催：カフェ&バー ハブ）

【日時】10月10日(土)～25日(日)

【会場】カフェ&バー ハブ（駅通り）

【内容】カフェ&バー「ハブ」による小企画。県美展の実力派20代作家、保手濱拓氏（1980年生まれ、山口市在住）の新作を紹介。

(4) 「山口アートファイブ展」、③「ギャラリー・ナカノ6人展」（主催：ギャラリー・ナカノ）

【日時②】10月8日(木)～18日(日)

【日時③】10月20日(火)～25日(日)

【内容】長年にわたって県美展を見続けてきたギャラリスト、中野聡氏が2回に分けて企画するグループ展。後半は、かつて県美展で活躍し、近年は県美展意外に活躍の場を広げたベテラン作家たちを軸にセレクト。

【会場】ギャラリー・ナカノ（一の坂川沿い 千歳橋そば）

(5) アート・フリーマーケット（特別協賛：ファースト・ホーム、特別協力：yabi山口朝日放送）

【日時】10月11日(日)、12日（月・祝） 9：00～16：00

【会場】山口県立美術館前庭（入場無料）

【出店数】14店舗

【内容】作品をつくる人とみる人が気軽にコミュニケーション出来る機会をつくることを目的として開設。ユニークな創作活動をする作家たちがオリジナルな作品を販売する2日間限定のアート・フリーマーケット。

3：アート・ルートーの坂

山口県立美術館と山口市中心商店街を結ぶルート、一の坂エリアをさまざまな企画によってアートな遊歩道にしようという部門

(1) 「オリジナル和紙をつくろう」

【日時】10月25日(日) 10：00～14：00

【会場】中市コミュニティホールNAC（中市商店街）

【対象】小学生とその保護者

【内容】巨大で革新的なデザインの和紙で知られる気鋭の和紙ディレクターと一緒にオリジナル和紙を制作。

【対象】小学校4年生～6年生 [定員] 20名（先着順）

【講師】堀木エリ子（和紙ディレクター）

【参加人員】19人

(2) 関連企画「絵図を片手に街を歩こう～萩往還と石州街道を歩く～」（主催：山口県文書館）

【日時】10月17日(土) ①9：30～11：30 ②13：30～15：00

【会場】山口県立図書館～中心商店街

【対象】一般

【内容】江戸時代に描かれた山口の絵図のコンパクトな複製を見ながら講師とともに実際の町並みを歩く。

【講師】山崎一郎（山口県文書館専門研究員）

【参加人員】① 20人 ②19人

第4回山口総合芸術文化祭 HEART2010

会 期：2010（平成22）年9月16日（木）～10月3日（日）

会 場：山口市中心市街地（山口県立美術館～一の坂川沿い～山口市商店街）

主 催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会（山口県立美術館、山口県立大学国際文化学部〔文化創造学科〕、山口市中心市街地まちづくり推進協議会、山口市商店街連合会、山口商工会議所、山口県、山口市、（財）山口県文化振興財団）、山口県教育委員会

特別協力：エフエム山口



ポスター



チラシ表



チラシ裏

1：第64回山口県美術展覧会（詳細は、別項に記載）

(1) 開催期間 9月16日（木）～10月3日（日）

(2) 総入場者数 6,870人

(3) ワークショップ

ア 自作を語る 入選・入賞者によって 20回実施

イ とんりのアーティスト

ウ 「す・き・まーものとももの間のかたちを見つけてみよう！」

エ 「ひもで、せんを、むすぶ。－ひもを結んでいくと、どんなことが起こるだろう？－」

(4) 特別展示 昨年度大賞受賞作家（下瀬信雄）による新作展

(5) 特別展示 「下瀬信雄写真展」

【日時】9月16日（木）～10月3日（日）

【会場】純喫茶コティ（米屋町商店街）

【内容】第63回県美展大賞受賞の下瀬信雄氏（1944年、萩市在住）の新作「日本点景」を展示。第64回県美展の特別展示と併せて開催

2：アート・マーケット

山口県美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリー、ミュージアム・グッズ、美術図書や絵本の店を開設し、美術館をアートづくりのマーケット（市場）に変身させる部門。

(1) 県美展作家紹介ギャラリー、美術館セレクトショップ

【日時】9月16日（木）～10月3日（日）

【会場】山口県立美術館ロビー（入場無料）

【内容】第50～64回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち希望者の作品を紹介、販売するほか、ミュージアム・グッズ、美術図書、絵本を販売

(2) 「県美展作家ストリート展」

【日時】9月16日（木）～10月3日（日）

【会場】山口県立美術館～中心商店街（シェフ・茶座・ノーマ・キアッセラ・ヴァロン・ドマーニ・グリーンリーフ）

【内容】近年の県美展でめざましい活躍を見せている作家3人（下瀬信雄、ハセガワ・タカシ、村岡典子）によるオリジナル絵はがきを展示、販売。美術館と中心商店街を結ぶラインに点在するカフェやレストランで開催。

(3) 関連企画 「保手濱拓写真展」（主催：カフェ&バー ハブ）

【日時】9月16日(木)～10月3日(日)

【会場】カフェ&バー ハブ（駅通り）

【内容】カフェ&バー「ハブ」による小企画。周南出身のまどみちおの詩集「のぼりくだりの・・・」の挿絵で話題になった県美展の若手実力派保手濱拓氏（1980年生まれ、山口市在住）の新作を紹介。

(4) 関連企画 「県美展界限」（主催：ギャラリー・ナカノ）

【日時】9月23日（木・祝）～28日(火)

【内容】長年にわたって県美展を見続けてきたギャラリスト、中野聡氏が企画するグループ展。山口市出身の若手美術家5人による作品を展示。

【会場】ギャラリー・ナカノ（一の坂川沿い 千歳橋そば）

(5) アート・フリーマーケット

【日時】10月3日(日) 9：00～16：00

【会場】山口県立美術館前庭（入場無料）

【出店数】13店舗

【内容】作品をつくる人とみる人が気軽にコミュニケーション出来る機会をつくることを目的として開設。ユニークな創作活動をする作家たちがオリジナルな作品を販売する1日限定のフリーマーケット。

3：アート・ルートーの坂

山口県立美術館と山口市中心商店街を結ぶルート、一の坂エリアをさまざまな企画によってアートな遊歩道にしようという部門

(1) 「絵図を片手に街を歩こう」（協力：山口県文書館）

【日時】10月2日(土) 9：30～11：30

【会場】山口県立美術館～中心商店街

【対象】一般

【内容】開催中のコレクション展「山口の絵図」を見た後、現在の美術館～一の坂ルート歩いて昔と今を比べる。

【講師】山本明史（山口県文書館専門研究員）

【参加人員】9人

(2) 「色鉛筆で花の絵はがきをつくろう」

【日時】10月3日(日) 10：00～16：00

【会場】山口県立美術館会議室

【対象】一般

【内容】色鉛筆で写真のような花の絵を描く吉村芳生さんと一緒に花の絵はがきを制作。

【講師】吉村芳生（美術家・第61回山口県美展大賞受賞者）

【参加人員】10人

第4回山口県総合芸術文化祭 第64回山口県美術展覧会

会期 2010年（平成22年）9月16日(木)～10月3日(日)

会場 山口県立美術館

運営委員（50音順）

白田 豊 （画廊主宰）
 高松昇志 （山口県教育委員会 社会教育・文化財課長）
 中野良寿 （山口大学教育学部 准教授）
 濱本 聡 （下関市立美術館 館長）
 堀家敬嗣 （山口大学教育学部 准教授）
 松永敏昭 （山口県環境生活部 文化振興課長）
 山口 光 （山口県立大学国際文化学部 准教授）
 米屋 優 （東亜大学デザイン学部長 教授）



パンフレット

（I）公募部門

1）審査員（50音順）

島 敦彦 国立国際美術館 学芸課長
 中村政人 東京藝術大学 准教授
 本江邦夫（審査委員長） 多摩美術大学 教授

2）実績

応募総点数 469点
 展示点数 163点

3）審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率 (%)
469	126	37	163	34.8

4）受賞者

〈大賞〉

TANADA（四郎谷） 印藤恒夫 下関市

〈優秀賞〉

ユメノツツキ 竹内久美子 宇部市
 秋吉譜 西岡康雄 光市
 宇宙樹（とは） 針間文彦 防府市
 審問 廣澤仁 東京都
 EXHIBITION 宮田君平 福岡県

〈佳作〉

西瓜 泉將志 下関市
 小さなアトリエ大きな夢 井上雪人 岩国市
 乾漆鴛鴦・螺鈿華紋丸小箱 江田佐知子 光市
 傀儡 逢坂日出夫 川村直基 田中穰 平生町
 SCENE 1972 KYOTO 片山一美 周南市
 笑 兼原啓二 防府市
 宙に紙垂ありて 河村竜司 周南市
 とうとう 春菊までもが・・・ 神原城夏 周南市
 MANIAC SOCIETY ISLAND 國本ゆうじ 萩市
 まちーバスを待つ昼さがり 黒田悌弘 山口市
 わきあがる生命の音（秋吉台） 研心 広島県

ふり積もっていった時間
化身
有縁社会
「禾」
どの器に生けましょう
ふしぎの芽 ～早く僕を見つけて～
愛のからくり
Sampling
風の音
キオクノカナタ
瀬戸内夜景
エンジェル
照女
昔の私 II
会場 10-1
潮・燦燦
オブジェ -風景(分譲地)
黙示
鼓動
明るくて深い意味のある感じ

白木靖子
高木優
中谷碧都梨
中本智子
橋本キミヨ
ハセガワタカシ
原田和明
平田博英&岩国高校美術部
福田武
藤村正子
増野弘己
守山幸伸
安森信
山口まなみ
山下哲郎
山田史生
山根秀信
吉谷正行
吉見健太郎
吉村大星

下松市
山陽小野田市
下関市
宇部市
周南市
山口市
山口市
岩国市
宇部市
山口市
下松市
宇部市
長門市
広島県
周防大島町
防府市
山口市
美祿市
山口市
山口市

〈特別展示〉

日本点景

下瀬信雄

萩市

(II) ワークショップ部門

「自作を語る」

会期中11回実施

「す・き・ま」

日時 9月19日(日) 13:30~15:30

会場 山口県立美術館講座室

講師 倉科勇三(美術家)

参加人数 17名

「ひもで、せんを、むすぶ」

日時 9月20日(月・祝) 13:30~15:30

会場 山口県立美術館玄関前広場

講師 倉科勇三(美術家)

参加人数 18名

(III) ボランティア部門

「マーブリングではがきをつくろう」

日時 9月18日(土) 11:00~13:00

会場 山口県立美術館ロビー

参加人数 35名

(3) 美術館ニュース「天花」

「天花」のタイトルは、大内時代、雪舟が山口市天花（てんげ）に雲谷庵をいとなんだという故事にちなんで命名されたもの。第1～60号まではB5判、第61～79号まではA4判であったが、80号から現行のA5判となって、年間スケジュール、展覧会や各種活動の紹介、所蔵品紹介を行っている。

第113号（平成22年3月31日）

- ・展覧会×トーク
- ・日本画の明治維新 森寛斎と狩野芳崖
- ・防府天満宮関連展示
- ・何モカイテナイ絵？抽象画への招待
- ・旅
- ・夏の展覧会
- ・年間スケジュール



第114号（平成22年10月31日）

- ・吉祥の花鳥画
- ・生誕100年 香月泰男－追憶のシベリアー
- ・2010年度コレクション展第V期の見どころ
- ・年間スケジュール



第115号（平成23年3月31日）

- ・生誕100年 香月泰男－追憶のシベリアー
- ・ボランティア活動紹介
- ・平成23年度特別展予告
- ・年間スケジュール



(4) 博物館実習

(1) 平成21年度

■実習生学校別内訳

1	京都女子大学 (文学部)	1名
2	九州産業大学 (芸術学部)	1名
3	立命館大学 (文学部)	1名
4	京都造形芸術大学 (芸術学部)	1名
5	成安造形大学 (造形学部)	1名
6	尾道大学 (芸術文化学部)	2名
7	山口県立大学 (国際文化学部、生活環境学部)	12名
8	山口大学 (人文学部)	5名
		8大学、24名

■実習内容

9月17日(木)	9:00~12:10	オリエンテーション
	13:00~16:10	美術館と作家顕彰
9月18日(金)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
9月19日(土)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
9月20日(日)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
9月24日(木)	9:00~12:10	古美術品の取り扱い
	13:00~16:10	写真の撮影/美術品の梱包
9月25日(金)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展作業)

(2) 平成22年度

■実習生学校別内訳

1	聖心女子大学 (文学部)	1名
2	山口大学 (人文学部)	4名
3	神戸芸術工科大学 (先端芸術学部)	1名
4	山口県立大学 (国際文化学部、大学院国際文化学研究科)	8名
5	金沢美術工芸大学 (美術工芸学部)	1名
6	梅光学院大学 (文学部)	1名
		6大学、14名

■実習内容

8月25日(木)	9:00~10:30	オリエンテーション
	10:40~12:10	美術館、県美展、HEARTについて
	13:00~14:15	教育普及について
	14:30~16:10	美術品の取り扱い
8月26日(木)	9:00~10:30	展覧会企画について
	10:40~12:10	美術品の修復について
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入準備作業)
8月27日(金)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入作業)
8月28日(土)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入作業)
8月29日(日)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展 搬入作業)
8月31日(火)	9:00~10:30	実際の作品の取り扱い (県美展 審査会作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展 審査会作業)
9月1日(水)	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展 審査会見学)
	13:00~15:00	実際の作品の取り扱い (県美展 展示見学・補助)
	15:00~16:10	総括
9月2日(木)	*延長者2名	
	9:00~12:10	実際の作品の取り扱い (県美展 展示見学・補助)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い (県美展 展示見学・補助)

(5) 美術館ボランティア

趣旨

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設け、ボランティアの知識や経験を活かした活動を通じて、県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

平成21年度

1・2・3・4期生による活動を行った。それぞれグループに分かれて、展覧会などに併せた企画をたてて実施した。

グループ別活動内容

教育普及班

コレクション展 フラワーズ！

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」

トーク+展示している壺に飾る花を想像して描く

会期中毎週土曜日 11:00～ 8回実施 参加者23人

コレクション展 現代美術の4つの絵画

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」

トーク

会期中の初回を除く毎週土曜日 11:00～ 4回実施 参加者11人

大ナポレオン展

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」

トーク

会期中毎週土曜日 11:00～ 6回実施 参加者44人

堀木エリ子の世界展

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」

トーク+和紙を使った工作

会期中毎週土曜日 11:00～ 6回実施 参加者11人

コレクション展 松田正平-美しい絵はだをもとめて-

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」

トーク

会期中毎週土曜日 11:00～ 9回実施 参加者11人

広報班

自己紹介誌製作

cafe101発行

展覧会サポート班

美術館周辺ランチマップ更新

コレクション展 フラワーズ！

- ・作品に描かれている花の花言葉と花の写真を使ったカードを製作。展示室内に設置

- ・美術館周辺の花マップ製作

大ナポレオン展

- ・作品を使ったジグソーパズルを製作。展示室内休憩コーナーに設置

県美展

- ・となりのアーティストpart2（展示作家に焦点をあてたインタビューと写真を掲示）

堀木エリ子の世界展

- ・ワークショップ「光の折り紙」（トランスパレントペーパーによる星飾りの製作）

日時：11月28日（土）

会場：展示室出口休憩スペース

その他

県美展搬入、審査会に参加

平成22年度

1・2・3・4期生による活動を行った。それぞれグループに分かれて、展覧会などに併せた企画をたてて実施した。

グループ別活動内容

教育普及班

コレクション展 旅ニデヨウ

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」
トーク

会期中の初回を除く毎週土曜日 11:00～ 2回実施 参加者4人

コレクション展 水のなかへ

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」
トーク

7・8月の毎週土曜日 11:00～ 3回実施 参加者のべ5人

吉村芳生展

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」
トーク+色鉛筆を使って小作品の制作

会期中の毎週土曜日 11:00～ 7回実施 参加者37人

コレクション展 吉祥の花鳥画

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」
トーク

1月29日・30日 11:00～ 2回実施 参加者3人

香月泰男 追憶のシベリア

- ・こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」
トーク

会期中毎週土曜日 11:00～ 6回実施 参加者25人

広報班

- ・自己紹介誌製作
- ・cafel01 発行

展覧会サポート班

コレクション展 旅ニデヨウ

- ・解説シート「旅のしおり」配布（A4両面：作品に描かれている場所の紹介・旅のプラン）
- ・旅の思い出（来館者に旅先でのエピソードを記入してもらい、ポスト型の箱に投入してもらい、随時展示室壁面に掲示）

コレクション展 水のなかへ

- ・ワークショップ「水に浮かぶ不思議なもよう」実施

日時：7月24日(土) 14:00～15:30

7月31日(土) 14:00～15:30

会場：美術館ロビー

参加者：48人

山口県美術展覧会

- ・ワークショップ「マッピングではがきをつくろう」実施

日時：9月18日(土) 11:00～13:00

会場：美術館ロビー

参加者：21人

吉村芳生展

- ・パズルで遊ぼう（展示室内休憩コーナーに作品を使った立方体6個組からなるパズルを設置）

香月泰男 追憶のシベリア

- ・マップ配布（A4両面：県立美術館から香月泰男美術館までのマップ+三隅町マップ）

- ・サインを探そう（パネル掲示によるクイズ）

その他

県美展搬入、審査会に参加

(6) 美術館学校連携推進事業

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及のため、平成16年度より新規に開始、平成18年度をもって3ヶ年施策が完了。平成19年度より「美術館学校地域連携推進事業」へ発展。

(1) 児童生徒向けプログラム

【学校見学】

学校単位での来館に対し解説、他来館者との調整などをおこなう。

(1) 平成21年度

累計：児童生徒・教員675名

(2) 平成22年度

累計：児童生徒・教員1754名

【出前授業】

多彩な授業を目指す学校や、学校単位での来館が困難な遠隔地の学校へ学芸員を派遣し、担任とともに授業を行う。

(1) 平成21年度

■日 時 平成21年11月12日(木)
対 象 下松市立公集小学校
担 当 前田淳子
授業名 美術に携わる人々の職業観に迫る（総合的な学習）

(2) 平成22年度

■日 時 平成22年11月16日(火)
対 象 山口市立大内小学校
担 当 前田淳子
授業名 雪舟「牧牛図」を鑑賞しよう

■日 時 平成22年11月17日(水)
対 象 山口市立大内小学校
担 当 岡本麻美
授業名 雪舟「牧牛図」を鑑賞しよう

■日 時 平成23年2月18日(金)
対 象 光市立東荷小学校
担 当 岡本麻美
授業名 春・夏・秋・冬を見つけよう～山水長巻の鑑賞

【県美資料等を活用した授業】

平成22年度

■特別展に関する連携授業
日 時 平成22年11月26日(金)
場 所 山口市立白石小学校
担 当 川西俊之（山口市立白石小学校）、河野通孝、前田淳子、岡本麻美
授業名 吉村芳生展「新聞に親しむ」

【展覧会ガイド】

子ども向けにわかりやすく解説した展覧会ガイドを小中学校へ配布し、美術館と美術教育を普及する。

平成22年度

■ガイド名 「香月泰男のシベリア・シリーズ」
配布先 長門市内小中学校、展覧会会場 ほか



子どもガイド 香月泰男のシベリア・シリーズ

【職場体験学習】

平成22年度

- 日 時 平成22年 9月16日(木)～17日(金)
- 対 象 山口市立大殿中学校
- 担 当 萬屋健司
- 参加者 2名

(2) 教員向けプログラム

【教員向け講座】

教員を対象に意欲知識指導力の向上を目指し、美術館と美術教育の普及を行う。

(1) 平成21年度

累計：参加教員 のべ72名

- 日 時 平成21年 8月 9日(日)
- 場 所 山口県立美術館
- 講 師 斎藤郁夫、河野通孝
- 主 題 「夏のけんび」(大ナポレオン展鑑賞、ようこそ美術館へ(山口県立美術館入門講座))
- 参加者 26名
- 日 時 平成21年10月11日(日)
- 場 所 山口県立美術館
- 講 師 前田淳子、倉科勇三
- 主 題 「秋のけんび その1」(コレクション展「狩野芳崖」をみる、県美展ワークショップで"つくる"と"みる"を考える)
- 参加者 11名
- 日 時 平成21年11月14日(土)
- 場 所 山口県立美術館、山口県立山口図書館
- 講 師 斎藤郁夫、岩井共二、堀木エリ子(和紙アーティスト)
- 主 題 「秋のけんび その2」(修復のはなし、堀木エリ子講演会)
- 参加者 21名
- 日 時 平成22年 3月14日(日)
- 場 所 山口県立美術館
- 講 師 河野通孝、前田淳子、津室和彦(山口市立大内南小学校教諭)、西村優子(周南市立周陽中学校教諭)
- 主 題 「もうすぐ春!のけんび」(コレクション展「プライベートな視線」、対話型鑑賞をしてみよう入門編)
- 参加者 14名

(2) 平成22年度

累計：参加教員 のべ69名

- 日 時 平成22年 4月18日(日)
- 場 所 山口県立美術館
- 講 師 河野通孝、荏開津通彦、前田淳子
- 主 題 「春のけんび」(今年の県美について、狩野芳崖と森寛斎、対話型鑑賞練習編)
- 参加者 8名
- 日 時 平成22年 6月20日(日)
- 場 所 山口県立美術館
- 講 師 岩井共二、岡本麻美
- 主 題 「夏のけんび」(大内氏と防府天満宮、絵巻を楽しむ!)
- 参加者 10名
- 日 時 平成22年 9月19日(日)
- 場 所 山口県立美術館
- 講 師 斎藤郁夫、倉科勇三(美術家 園田女子短期大学講師)
- 主 題 「秋のけんび I」(抽象画のはなし、県美展ワークショップ「す・き・ま」)
- 参加者 18名

■日 時 平成22年10月31日(日)
場 所 山口県立美術館
講 師 濱本聰（下関市立美術館）、吉村芳生（美術家）
主 題 「秋のけんび Ⅱ」（殿敷侃について、吉村芳生展ギャラリートーク）
参加者 13名

■日 時 平成23年3月6日(日)
場 所 山口県立美術館
講 師 萬屋健司、前田淳子、岡本麻美
主 題 「早春のけんび」（香月泰男シベリア・シリーズについて、対話型鑑賞練習会）
参加者 20名

【教員校外研修】

平成21年度

■日 時 平成21年7月21日、8月3日～4日
場 所 山口県立美術館
訪問教員 平谷 祐子（下関市立長成中学校 教諭）
■日 時 平成21年8月3日(月)～5日(水)
場 所 山口県立美術館
訪問教員 吉武 真紀（山口県立山口中央高等学校 教諭）

【教員免許状更新講習】

平成22年度

■日 時 平成22年8月20日(金)
場 所 山口県立美術館ほか
講 師 前田淳子
講 習 名 生で見る、扱う、愛でる 日本・東洋美術の魅力
参加教員 30名

【山口県造形教育研究会等との連携】

【学芸員の派遣】

平成21年度

■日 時 平成21年10月8日(木)
対 象 下松市中学校教職研修会美術部会
場 所 下松市立末武中学校
主 題 「鑑賞活動を通して美術を理解し、愛好する心情を育む授業の工夫」
講 師 前田淳子（指導助言）
■日 時 平成21年10月22日(木)
対 象 美祢市中学校教育研究会
場 所 山口県立美術館
主 題 「山口県出身の作家「香月泰男」の作品鑑賞（中学生のための）」
講 師 佐々木真治（義務教育課）、斎藤郁夫、前田淳子
■日 時 平成21年12月10日(木)
対 象 山口市教育研究会中学校美術部会研修会
場 所 山口県立美術館
主 題 「香月泰男について」
講 師 安井雄一郎、斎藤郁夫、前田淳子

【情報センター】

県内の教員・学芸員の日常的な連携（情報交換）をサポートするため、メーリングリストを運営する。

(1) 平成21年度

累計：参加教員・学芸員87名

(2) 平成22年度

累計：参加教員・学芸員94名

(7) その他の事業

シンフォニア岩国（山口県民文化ホールいわくに）との共催で、2009年度には県美展作家を紹介する展覧会、2010年度には館蔵品展を開催した。

ふるさとアーティスト作品展「県美展受賞作家7人展」

会期：2009年10月24日(土)～11月3日(火・祝)

会場：シンフォニア岩国 企画展示ホール

主催：シンフォニア岩国指定管理者サントリーパブリシティサービス(株)／山口県立美術館

後援：山口県、岩国市、山口県教育委員会、岩国市教育委員会、岩国市文化協会、財団法人岩国の文化を育てる会

(1) 趣旨

第58回以降（5年以内）の山口県美術展覧会において、優秀賞以上を受賞した山口県にゆかりのあるアーティスト7人による作品展を開催した。山口県の持つ優れた文化力を紹介するとともに、今後の県の文化を担う後継者の育成につなげることで、および鑑賞者に身近な作家の作品を紹介することで、美術により一層の親しみを感じてもらうことを目的とした。また、シンフォニア岩国が第3回山口総合芸術文化祭のメインフェスティバルの会場となることから、開催時期をこれに合わせ、集客の相乗効果も図りながら、美術ファンの育成につなげる事を目的とした。

(2) 出品作家

大瀬戸照夫、白木靖子、末田浩一、手嶋大輔、村岡典子、山下哲郎、吉村芳生

(3) 会期中のイベント等

山口県立美術館学芸員によるギャラリー・トーク

日時：10月25日(日) 10：30～13：30

(4) 入場者数

1,832人

山口県立美術館収蔵品による「カラダと水の再発見」

会期：2010年11月17日(水)～11月24日(水)

会場：シンフォニア岩国 企画展示ホール

主催：シンフォニア岩国指定管理者サントリーパブリシティサービス(株)／山口県立美術館

後援：山口県、岩国市、山口県教育委員会、岩国市教育委員会、岩国市文化協会、財団法人岩国の文化を育てる会

(1) 趣旨

2010年度コレクション展特別企画「ヌード」と「水のなかへ」をもとに、山口県立美術館の所蔵品からヌードと水をモチーフとした作品を紹介した。日常のありふれた存在であるカラダや水が、画家や写真家の視線を介することで、新鮮な対象として立ち現れることを感じてもらい、身近な存在の再発見につながるような展示をめざした。

(2) 出品作品

山口県立美術館所蔵作品69点

出品作家：25名

A. アダムズ、荒木経惟、植田正治、尾崎正章、香月泰男、桑重儀一、小林和作、小本章、里見勝蔵、下瀬信雄、東松照明、永地秀太、中村正也、濱谷浩、林忠彦、W. バロック、A. ヒル、深瀬昌久、福田勝治、藤田隆治、本庄光郎、松田正平、三浦俊輔、宮崎進、山本文彦

(3) 会期中のイベント等

山口県立美術館学芸員によるギャラリー・トーク

日時：11月23日(火・祝) 11：00～、14：00～

(4) 入場者数

606人

事業

Ⅲ. 調査研究事業

雪舟研究会

平成21年度

■研究委員会

第1回

日時 平成21年7月10日(金) 14:00~16:00

場所 山口県立美術館会議室

松原 清 (山口県立美術館館長) 会長

影山 純夫 (神戸大学国際文化学部教授) 研究委員長
井土 誠 (下関市立美術館館長) 研究委員
伊藤 幸司 (山口県立大学国際文化学部准教授) 研究委員
菊屋 吉生 (山口大学教育学部教授) 研究委員
古賀 信幸 (山口市総合政策部文化政策課市史編さん室長) 研究委員
福島 恒徳 (花園大学文学部教授) 研究委員 (欠席)
真木 隆行 (山口大学人文学部准教授) 研究委員 (欠席)
山本 英男 (京都国立博物館美術室長) 研究委員
吉積 久年 (山口県文書館副館長) 研究委員
和田 秀作 (山口県文書館専門研究員) 研究委員
綿田 稔 (東京文化財研究所企画情報部広領域研究室長) 研究委員
荏開津通彦 (山口県立美術館学芸課主任) 研究委員

杉原 敏雄 (山口県立美術館副館長) 事務局長
平尾 賢二 (山口県立美術館総務課長) 事務局員
斎藤 郁夫 (山口県立美術館学芸課長) 事務局員
河野 通孝 (山口県立美術館普及課長) 事務局員

第2回

日時 平成21年11月23日(月・祝) 16:00~17:00

場所 山口県立美術館会議室

松原 清 (山口県立美術館館長) 会長

影山 純夫 (神戸大学国際文化学部教授) 研究委員長
井土 誠 (下関市立美術館館長) 研究委員
伊藤 幸司 (山口県立大学国際文化学部准教授) 研究委員 (欠席)
菊屋 吉生 (山口大学教育学部教授) 研究委員
古賀 信幸 (山口市総合政策部文化政策課市史編さん室長) 研究委員
福島 恒徳 (花園大学文学部教授) 研究委員 (欠席)
真木 隆行 (山口大学人文学部准教授) 研究委員
山本 英男 (京都国立博物館美術室長) 研究委員 (欠席)
吉積 久年 (山口県文書館副館長) 研究委員
和田 秀作 (山口県文書館専門研究員) 研究委員
綿田 稔 (東京文化財研究所企画情報部広領域研究室長) 研究委員
荏開津通彦 (山口県立美術館学芸課主任) 研究委員

杉原 敏雄 (山口県立美術館副館長) 事務局長
平尾 賢二 (山口県立美術館総務課長) 事務局員
斎藤 郁夫 (山口県立美術館学芸課長) 事務局員
河野 通孝 (山口県立美術館普及課長) 事務局員

■研究報告

日時 平成21年7月10日(金) 14:10~15:10

場所 山口県立美術館会議室

報告者 綿田稔 (研究委員)

題目 「伝雲谷等顔筆 梅に鴉図襖について」

■公開講座

日時 平成21年11月23日（月・祝） 13：30～16：00
場所 山口県立美術館講座室
題目 雲谷派から雪舟を考える

基調講演

演題：雲谷等顔筆「梅に鴉図」の謎を解く
講師：綿田稔（東京文化財研究所広領域研究室長・研究委員）

シンポジウム

パネリスト：影山 純夫（神戸大学国際文化学部教授・研究委員）
山本 英男（京都国立博物館美術室長・研究委員）
渡邊 雄二（福岡市美術館学芸課長）
綿田 稔（東京文化財研究所広領域研究室長・研究委員）
コーディネーター：菊屋 吉生（山口大学教育学部教授・研究委員）

■研究誌『天開圖畫』第8号の刊行（平成22年7月17日発行）

秋月伝の再検討 渡邊 雄二
『益田家文書』の中の雪舟作品 影山 純夫
明代の倣古と雪舟 荏開津通彦



天開図画8号

平成22年度

■研究委員会

第1回

日時 平成22年7月17日(土) 14：00～16：00
場所 山口県立美術館会議室
出席 松原 清（山口県立美術館館長）

会長

影山 純夫（神戸大学国際文化学部教授）	研究委員長
井土 誠（下関市立美術館館長）	研究委員
伊藤 幸司（山口県立大学国際文化学部准教授）	研究委員
菊屋 吉生（山口大学教育学部教授）	研究委員
古賀 信幸（山口市総合政策部文化政策課市史編さん室長）	研究委員
福島 恒徳（花園大学文学部教授）	研究委員
真木 隆行（山口大学人文学部准教授）	研究委員
山本 英男（京都国立博物館美術室長）	研究委員（欠席）
吉積 久年（山口県文書館副館長）	研究委員
和田 秀作（山口県文書館専門研究員）	研究委員（欠席）
綿田 稔（東京文化財研究所企画情報部広領域研究室長）	研究委員
荏開津通彦（山口県立美術館学芸課主任）	研究委員

盛田 隆（山口県立美術館副館長）	事務局長
平尾 賢二（山口県立美術館総務課長）	事務局員
斎藤 郁夫（山口県立美術館学芸専門監）	事務局員
河野 通孝（山口県立美術館学芸課長）	事務局員

第2回

日時 平成22年11月27日(土) 16：00～17：00
場所 山口県立美術館会議室
出席 松原 清（山口県立美術館館長）

会長

影山 純夫（神戸大学国際文化学部教授）	研究委員長（欠席）
井土 誠（下関市立美術館館長）	研究委員
伊藤 幸司（山口県立大学国際文化学部准教授）	研究委員
菊屋 吉生（山口大学教育学部教授）	研究委員

古賀 信幸 (山口市総合政策部文化政策課市史編さん室長)	研究委員
福島 恒徳 (花園大学文学部教授)	研究委員 (欠席)
真木 隆行 (山口大学人文学部准教授)	研究委員
山本 英男 (京都国立博物館保存修理室長)	研究委員 (欠席)
吉積 久年 (山口県文書館副館長)	研究委員
和田 秀作 (山口県文書館専門研究員)	研究委員
綿田 稔 (東京文化財研究所企画情報部広領域研究室長)	研究委員
荏開津通彦 (山口県立美術館学芸課主任)	研究委員
盛田 隆 (山口県立美術館副館長)	事務局長
平尾 賢二 (山口県立美術館総務課長)	事務局員
斎藤 郁夫 (山口県立美術館学芸専門監)	事務局員
河野 通孝 (山口県立美術館学芸課長)	事務局員

■研究報告

日 時 平成22年7月17日(土) 14:10~15:10
 場 所 山口県立美術館会議室
 報告者 荏開津通彦 (研究委員)
 題 目 「伝雪舟筆「観音図」をめぐる二、三の問題」

■公開講座

日時 平成21年11月23日 (月・祝) 13:30~14:30
 場所 Nac 中市コミュニティホール
 題目 文明18年の雪舟と大内氏

基調講演

演題：山水長巻と観音図－大作に込めた願い
 講師：畑靖紀 (九州国立博物館研究員)

シンポジウム

ゲスト：畑 靖紀 (九州国立博物館研究員)
 パネリスト：和田 秀作 (山口県文書館専門研究員・研究委員)
 綿田 稔 (東京文化財研究所企画情報部広領域研究室長)
 荏開津通彦 (山口県立美術館学芸課主任・研究委員)
 コーディネーター：菊屋 吉生 (山口大学教育学部教授・研究委員)

事業

IV. 収集事業

(1) 館蔵品寄託品貸出

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
旅芸人	宮崎進	2009.6.6-7.20	多摩美術大学美術館	宮崎進 - 漂泊 Wandering-	
夜	〃	〃	〃	〃	
小屋	〃	〃	〃	〃	
中国風景	藤田隆治	2009.9.25-2010.1.15	豊田市美術館	近代の東アジアイメージ-日本近代美術はどうアジアを描いてきたか	
中国風景	〃	〃	〃	〃	
支那風景	〃	〃	〃	〃	
紺糸を干す	小野竹喬	2009.10.15-2010.4.20	大阪市立美術館、笠岡市立竹喬美術館、東京国立近代美術館	生誕120年 小野竹喬展	
朝鮮古廟(蒼龍図)	山岡良文	2010.8.24-2011.3.30	京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、広島県立美術館	『日本画』の前衛 1938-1949	寄託品
朝鮮古廟(白虎図)	〃	〃	〃	〃	寄託品
朝鮮古廟(持送天人図)	〃	〃	〃	〃	寄託品
放鳥	〃	〃	〃	〃	寄託品
釋妙昭信女A(じゅばん)	殿敷侃	2010.7.26-2010.9.24	広島県立美術館	広島から広島 トームが見つめた街	寄託品
倣李唐牧牛図(牧童)	雪舟等楊	2010.10.2-2010.11.13	岡山県立美術館	岡山・美の回廊	
倣李唐牧牛図(渡河)	〃	〃	〃	〃	
倣高克恭山水図巻	〃	〃	〃	〃	
接合箱「紡」	山本晃	2010.10.21-2010.12.21	山口県立萩美術館・浦上記念館	山口のわざと美	
銀四分一銅接合わせ「青響」	〃	〃	〃	〃	
接ぎ合せ箱「山背」	〃	〃	〃	〃	
SELF AND OTHERS	牛腸茂雄	2010.11.4-2010.12.7	Bunkamura ザ・ミュージアム、桑沢デザイン研究所	デザインの時代、アートの息吹 桑沢デザイン研究所 + 東京造形大学 SO + ZO 展「未来をひらく造形の過去と現在 1960s →」	
SELF AND OTHERS	〃	〃	〃	〃	
SELF AND OTHERS	〃	〃	〃	〃	
SELF AND OTHERS	〃	〃	〃	〃	
SELF AND OTHERS	〃	〃	〃	〃	
雪景山水図	高島北海	2011.1.27-2011.3.25	下関市立美術館	没後80年 高島北海展	
日本垂伯山溪図	〃	〃	〃	〃	
高嶺深谷図	〃	〃	〃	〃	
秋景山水図	〃	〃	〃	〃	
花卉図	〃	〃	〃	〃	
青海島島見門図	〃	〃	〃	〃	
花鳥図	〃	〃	〃	〃	
牛	香月泰男	2011.3.14-2011.5.18	尾道市立美術館	ゆめのかたち 香月泰男展	寄託品
幼鷺	〃	〃	〃	〃	
施療	〃	〃	〃	〃	寄託品
雲丹	〃	〃	〃	〃	
とまと	〃	〃	〃	〃	
針ねずみ	〃	〃	〃	〃	
コンドル	〃	〃	〃	〃	
パッファロー	〃	〃	〃	〃	
みどりちうはし	〃	〃	〃	〃	
虎	〃	〃	〃	〃	
あざらし	〃	〃	〃	〃	
ジャガー	〃	〃	〃	〃	
猿	〃	〃	〃	〃	
白孔雀	〃	〃	〃	〃	
象	〃	〃	〃	〃	
真鶴	〃	〃	〃	〃	
エミュ	〃	〃	〃	〃	
マンドリルとゴリラ	〃	〃	〃	〃	
ペンギン	〃	〃	〃	〃	
動物園にて	〃	〃	〃	〃	
ライオン	〃	〃	〃	〃	
らくだ	〃	〃	〃	〃	
母子像1	〃	〃	〃	〃	
母子像2	〃	〃	〃	〃	
母子像3	〃	〃	〃	〃	
母子像4	〃	〃	〃	〃	
母子像5	〃	〃	〃	〃	
母子像6	〃	〃	〃	〃	
母子像7	〃	〃	〃	〃	
母子像8	〃	〃	〃	〃	
母子像9	〃	〃	〃	〃	
貝殻	〃	〃	〃	〃	
モーレア島	〃	〃	〃	〃	
宿の窓から	〃	〃	〃	〃	

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等	備考
休むカヌー	香月泰男	2011.3.14-2011.5.18	尾道市立美術館	ゆめのかたち 香月泰男展	
日中の道	◇	◇	◇	◇	
フラダンス	◇	◇	◇	◇	
教会	◇	◇	◇	◇	
広場にて	◇	◇	◇	◇	
オレンジのある庭	◇	◇	◇	◇	
鳩にいる中庭	◇	◇	◇	◇	
海岸にて	◇	◇	◇	◇	
オリーブ	◇	◇	◇	◇	
海辺にて	◇	◇	◇	◇	
ルノアールの庭	◇	◇	◇	◇	
ニース	◇	◇	◇	◇	
サンポーロ	◇	◇	◇	◇	
みもぞ	◇	◇	◇	◇	

(2) コレクション

※凡例

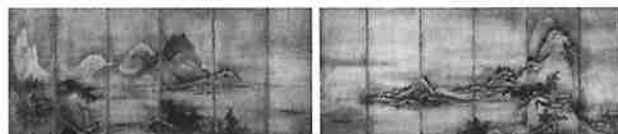
以下の目録は、2009（平成19）年4月から2011（平成23）年3月までに収蔵された館蔵品を網羅したものである。作品の整理方針及び個々のデータの記録法は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準じている。すなわち、作品は日本画（J）・洋画（O）・水彩画（W）・素描（D）・版画（P）・写真（Ph）・彫刻（S）・工芸（C）・書（Ca）・資料（R）の順で編集し、また個々のデータについては、整理番号・作者・生没年・タイトル・制作年・材質技法・寸法・収集年度とその経緯の順で記した。整理番号は『山口県立美術館年報 平成19～20年』に続く通し番号である。



J-259
山本直彰
YAMAMOTO, Naoaki
1950～
海・イーカリアの
Sea of Icaria
2004
ミクストメディア、紙
2010×349.0
平成21年度 寄贈
作者寄贈



J-260
山本直彰
YAMAMOTO, Naoaki
1950～
DOOR MT
DOOR MT
1999
ミクストメディア、カンヴァス
197.0×300.0
平成21年度 寄贈
作者寄贈



J-261
雲谷等顔
UNKOKU, Togan
1547～1618
山水図
Landscape
桃山時代17世紀初期
紙本墨画淡彩 六曲屏風一双
各 147.0×346.4
平成20、22年度 購入（美術作品取得基金）



J-262
雲谷等瑠
UNKOKU, Tohan
1635～1724
山水図
Landscape
江戸時代17～18世紀
絹本墨画 掛幅装一幅
36.0×47.7
平成22年度 寄贈
原田佳忠氏 寄贈



O-209
香月泰男
KAZUKI, Yasuo
1911～1974
とまと
Tomato
1950年代前半
油彩、カンヴァス
22.0×27.5
平成21年度 寄贈
石田恵美子氏 寄贈



O-210
松田正平
MATSUDA, Shohei
1913～2004
父と子
Father and Son
1953
油彩、カンヴァス
53.3×45.8
平成21年度 寄贈
三好隆三氏 寄贈



O-211
 小林和作
 KOBAYASHI, Wasaku
 1888~1974
 バラ花
 Rose
 油彩、カンヴァス
 46.0×38.2
 平成22年度 寄贈
 瀧口三郎氏 寄贈



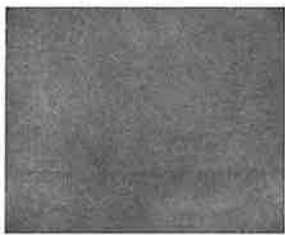
O-212
 松田正平
 MATSUDA, Shohei
 1913~2004
 バラ
 Rose
 1958
 油彩、カンヴァス
 45.6×33.3
 平成22年度 寄贈
 瀧口三郎氏 寄贈



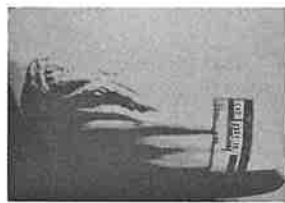
D-023
 吉村芳生
 YOSHIMURA, Yoshio
 1950~
 FISH-84-8
 FISH-84-8
 1985
 鉛筆、紙
 150.0×110.0
 平成22年度 保管転換
 山口県ひとづくり財団（セミナー
 パーク管理）より保管転換



P-197
 殿敷侃
 TONOSHIKI, Tadashi
 1942~1992
 ノコ
 Saw
 不詳
 エッチング、紙
 13.6×36.0
 平成21年度 寄贈
 天野紋子氏 寄贈



P-198
 殿敷侃
 TONOSHIKI, Tadashi
 1942~1992
 クシ
 Comb
 1981年頃
 エッチング、紙
 16.2×19.7
 平成21年度 寄贈
 天野紋子氏 寄贈



P-199
 殿敷侃
 TONOSHIKI, Tadashi
 1942~1992
 ハクサイ
 Chinese Cabbage
 1981年頃
 シルクスクリーン、紙
 40.0×57.0
 平成21年度 寄贈
 天野紋子氏 寄贈



P-200
 殿敷侃
 TONOSHIKI, Tadashi
 1942~1992
 カブト
 Helmet
 1980年より前
 シルクスクリーン、紙
 39.9×57.0
 平成21年度 寄贈
 天野紋子氏 寄贈



P-201
 殿敷侃
 TONOSHIKI, Tadashi
 1942~1992
 霊地
 Memorial Place
 1980年頃
 シルクスクリーン、紙
 79.0×81.0
 平成21年度 寄贈
 天野紋子氏 寄贈



P-202

殿敷侃

TONOSHIKI, Tadashi
1942~1992

霊地

Memorial Place
1980年頃
シルクスクリン、紙
57.8×81.6
平成21年度 寄贈
天野紋子氏 寄贈



P-203

殿敷侃

TONOSHIKI, Tadashi
1942~1992

作品(新聞)

Work(Newspaper)
1981年頃
シルクスクリン、新聞紙
182.0×81.0
平成21年度 寄贈
天野紋子氏 寄贈



P-204

殿敷侃

TONOSHIKI, Tadashi
1942~1992

ケロイド

Keloid on a Back
1981年頃
シルクスクリン、紙
71.0×103.3
平成21年度 寄贈
天野紋子氏 寄贈



P-205

殿敷侃

TONOSHIKI, Tadashi
1942~1992

ATOMIC BOMB

ATOMIC BOMB
1980年頃
シルクスクリン、紙
70.5×100.0
平成21年度 寄贈
天野紋子氏 寄贈



C-225

飴村秀子

AMEMURA, Hideko
1928~

啓示

Revelation
1977
染織、綿 二曲屏風一隻
179.0×169.6
平成22年度 寄贈
作者寄贈



C-226

飴村秀子

AMEMURA, Hideko
1928~

アグルの楯

Shield of Agur(The Value of
Proverbs, 30:5)
1987
染織、綿 額装
210.0×138.0
平成22年度 寄贈
作者寄贈



C-227

飴村秀子

AMEMURA, Hideko
1928~

幫

Don't Be Frigntend by the Size of
the Task (I Chronicles, 28:20)
2001
染織、綿 額装
185.0×125.0
平成22年度 寄贈
作者寄贈



C-228

飴村秀子

AMEMURA, Hideko
1928~

ガザに盲いて

A Blind Man in Gaza(Judges,
13:1-16:31)
2007
染織、綿 額装
180.0×120.0
平成22年度 寄贈
作者寄贈

R-094

無適等之（岡等之？）

MUTEKI, Toshi

生没年不詳

西湖金山寺図

Landscape of Lake Xi and
Jinshan-si

江戸時代18世紀

紙本墨画淡彩 六曲屏風一双

各154.5×359.6

平成21年度 寄贈

雨村明倫氏 寄贈

R-095

香月泰男（絵付）

KAZUKI, Yasuo

1911～1974

萩台鉢（山桃）

Presentoir

1955

陶

口径24.0、底径11.5、高10.6

平成21年度 寄贈

石田恵美子氏 寄贈

R-096

三好正直資料

References of

MIYOSHI, Masanao

香月泰男・松田正平等関連書簡、写
真。自作スケッチ、水彩画等 25件

平成21年度 寄贈

三好隆三氏 寄贈

(3) 山口県立萩美術館・浦上記念館 陶芸館 開館に伴う陶芸作品の移管

山口県では、山口県の誇る陶芸文化の継承・発展を図り、広く全国に向けた情報発信を行い、県境を越えた文化の発信拠点とすることを目的に、萩焼発祥の地にある、山口県立萩美術館・浦上記念館に新たな陶芸展示施設「陶芸館」を整備することとなった。この陶芸展示施設の整備に伴い、山口県立美術館が昭和54年の開館以来収蔵・展示を行ってきた陶芸作品は、萩美術館・浦上記念館に移管することになった。平成19年度に、主に前衛陶芸作品を除く陶芸作品(C)・資料(R)が、萩美術館・浦上記念館に移管された。(移管作品は当館年報平成19～20年度版に掲載)

平成22年3月の陶芸館完成に伴い、平成22年度には、下記の大型作品を含む前衛陶芸作品(C)が萩美術館・浦上記念館に移管された。陶芸館は、平成22年9月11日に開館し、開館記念展として「龍人伝説への道 三輪休雪展」(9/11～10/24)が開催された。

番号	作品名記号	作品名	作者名	寸法 (cm)	制作年	収集年度	取得方法
1	C-038	花Ⅰ	三輪休雪(12代)	44.2 × 30.2 × 31.3	1977	昭和54年度	購入
2	C-039	花Ⅱ	三輪休雪(12代)	53.3 × 23.3 × 15.5	1977	昭和54年度	購入
3	C-037	ラブ Love	三輪休雪(12代)	29.9 × 36.6 × 42.4	1969	昭和54年度	寄贈
4	C-040	予感	三輪休雪(12代)	47.9 × 30.1 × 36.8	1977	昭和54年度	寄贈
5	C-048	女	三輪休雪(12代)	45.0 × 34.5 × 36.0	1976	昭和55年度	寄贈
6	C-066	LOVE(ハイヒール)	三輪休雪(12代)	—	1980	昭和56年度	購入
7	C-064	鉢「雷童」	三輪休雪(12代)	25.7 × 21.5 × 11.5	1981	昭和56年度	購入
8	C-088	鉢「早春」	三輪休雪(12代)	大: 24.3 × 37.2 × 6.8 小: 23.8 × 27.1 × 7.0	1981	昭和56年度	購入
9	C-058	赤ちゃんの帽子	里中英人	—	1973	昭和57年度	購入
10	C-061	ニュースペーパー'82	三島喜美代	84.2 × 117.8 × 78.0	1982	昭和57年度	購入
11	C-062	コピー'82	三島喜美代	—	1982	昭和57年度	購入
12	C-051	砂の聖書	荒木高子	61.5 × 43.5 × 14.5	1980	昭和57年度	購入
13	C-059	表層・深層	星野暁	—	1982	昭和57年度	購入
14	C-060	Appearance・Substance	星野暁	—	1982	昭和57年度	購入
15	C-053	証言	鯉江良二	50.5 × 50.5 × 24.4	1973	昭和57年度	購入
16	C-054	スパーク・スパーク・アーム	鯉江良二	—	1982	昭和57年度	購入
17	C-067	花器	三輪休雪(12代)	63.0 × 16.0 × 69.5	1982	昭和57年度	購入
18	C-065	流沙の人	三輪休雪(12代)	113.7 × 33.6 × 25.5	1979	昭和57年度	購入
19	C-052	起土ー魚形の仮説ー	伊藤公象	244.0 × 395.0	1982	昭和57年度	寄贈
20	C-082	プレート	P.ヴォーコス	口径54.0 × 60.0、底径40.6、高15.0	1982	昭和58年度	購入
21	C-076	伝道之書Ⅱー自然の中の崩壊ー	西村陽平	各33.0 × 33.0 × 33.7	1975	昭和59年度	購入
22	C-077	ベンチを侵蝕するアルミ	西村陽平	1: 27.9 × 23.0 × 17.1、 2: 27.8 × 23.1 × 17.1	1980	昭和59年度	購入
23	C-078	カップを破壊する石	西村陽平	48.7 × 32.8 × 20.8	1982	昭和59年度	購入
24	C-079	独逸浪漫主義ーアッシジに寄せてー	西村陽平	39.8 × 40.0 × 25.5	1982	昭和59年度	購入
25	C-080	独逸浪漫主義2	西村陽平	84.4 × 58.7 × 5.0	1982	昭和59年度	購入
26	C-081	燃えない木	西村陽平	1: 38.5 × 28.0 × 29.5 2: 31.2 × 19.5 × 20.0	1984	昭和59年度	購入
27	C-073	モナリザ	佐藤敏	50.7 × 51.1 × 11.3	1976	昭和59年度	購入
28	C-074	陶酔記	佐藤敏	262.0 × 31.5 × 163.7	1984	昭和59年度	購入
29	C-083	スタック	P.ヴォーコス	口径16.5、胴径53.0、底径59.0、高114.0	1982	昭和59年度	購入
30	C-100	アイス・バケツ	P.ヴォーコス	口径27.0、底径35.0、高36.0	1982	昭和60年度	購入
31	C-099	世紀末の風景1～3	中村康平	1: 57.1 × 28.6 × 64.4 2: 50.4 × 28.3 × 62.1 3: 48.3 × 29.6 × 59.5	1985	昭和60年度	購入
32	C-089	無題	井澤乙也	男: 169.2 女: 165.8 猫: 35.1	1983	昭和60年度	購入
33	C-219	アロハ	中村康平	高66.2	1983	昭和60年度	寄贈
34	C-097	無題	佐々木成	65.5 × 7.0 × 94.5	1987	昭和61年度	購入
35	C-096	無題	佐々木成	61.6 × 5.0 × 91.3	1987	昭和61年度	購入
36	C-095	無題	佐々木成	67.5 × 52.3 × 5.0	1987	昭和61年度	購入
37	C-092	HEK85S-2	井上雅之	56.0 × 47.5 × 78.6	1985	昭和61年度	購入
38	C-091	KOK85E-2	井上雅之	71.9 × 21.8 × 45.4	1985	昭和61年度	購入
39	C-090	KOK85T-1	井上雅之	97.0 × 19.5 × 27.3	1985	昭和61年度	購入
40	C-093	KCJ8643	井上雅之	92.3 × 59.4 × 71.8	1986	昭和61年度	購入
41	C-098	垂直から水平ー2	土門邦勝	—	—	昭和61年度	購入
42	C-107	ニュースペーパー'87	三島喜美代	110.0 × 121.0 × 116.0	1987	昭和62年度	購入
43	C-116	作品	水野峰夫	80.0 × 40.0 × 190.0	1988	平成元年度	購入
44	C-117	恒久破壊Ⅰ	三輪休雪	520 × 250 × 30	1987	平成元年度	購入
45	C-201	オブジェ群(129点)	三輪休雪(12代)	—	1966-78	平成8年度	購入(美術作品取得基金)
46	C-217	古代の人	三輪休雪(12代)	各73.0 × 163.0 × 360.0	1979～1993	平成8年度	購入(美術作品取得基金)
47	C-218	続・卑弥呼の書(No.9)	三輪休雪(12代)	85.0 × 488.0 × 282.0	1992	平成8年度	購入(美術作品取得基金)
48	C-149	白雲現龍氣	三輪休雪(12代)	H210.0 × W770.0 × D320.0	1995	平成9年度	購入(美術作品取得基金)
49	C-150	柔らかい海Ⅰ	三輪休雪(12代)	49.0 × 37.5 × 107.0	1996	平成10年度	購入(美術作品取得基金)
50	C-151	柔らかい海Ⅱ	三輪休雪(12代)	84.5 × 50.0 × 75.0	1996	平成10年度	購入(美術作品取得基金)
51	C-147	寂・般若	三輪休雪(12代)	49.5 × 100.0 × 220.0	1993	平成10年度	購入(美術作品取得基金)
52	C-148	寂・若女	三輪休雪(12代)	43.5 × 100.0 × 220.0	1993	平成11年度	購入(美術作品取得基金)

(4) 美術図書

平成21年度

図書	429 冊
カタログ	489 冊
逐次刊行物	494 冊

平成22年度

図書	239 冊
カタログ	383 冊
逐次刊行物	570 冊

入館者数一覧

平成21年度 (2009)

展覧会名	開催期間	有 料														小計		
		個 人								団 体								
		一般		シニア		学生		計	一般		シニア		学生		計			
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数			
常設展	21.4.1~ 3.31(302)	300	6,236		0	200	259	6,495	240	153		0	160	70	223	6,718		
第32回伝統工 芸新作展	21.5.29~ 6.7(10)	300	401			300	2	403							0	403		
大ナポレオン展	21.8.5~ 9.13(35)	1,000	9,690	800	1,872	800	442	12,004	800	12,601	500	2,196	500	358	15,155	27,159		
第63回山口県美 術展覧会	21.10.8~ 10.25(16)	500	3,239			400	70	3,309	400	18			300		18	3,327		
堀木エリ子展	21.11.11~ 12.20(35)	800	8,354	700	1,412	700	178	9,944	600	2,414	500	326	500	90	2,830	12,774		
第62回学校美 術展覧会	22.1.26~ 1.31(5)							0							0	0		
県大卒業制作展	22.2.3~ 2.7(5)							0							0	0		
芸短卒業制作展	22.2.11~ 2.14(4)							0							0	0		
山大卒業制作展	22.2.18~ 2.21(4)							0							0	0		
合計			27,920		3,284		951	32,155		15,186		2,522		518	18,226	50,381		

平成22年度 (2010)

展覧会名	開催期間	有 料														小計		
		個 人								団 体								
		一般		シニア		学生		計	一般		シニア		学生		計			
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数			
常設展	22.4.1~ 3.31(302)	300	6,100	0	0	200	253	6,353	240	81	0	0	160	122	203	6,556		
第33回伝統工 芸新作展	22.5.21~ 5.30(10)	300	537	0	0	200	2	539	240	0	0	0	160	0	0	539		
第64回山口県美 術展覧会	22.9.16~ 10.3(16)	500	3,980	0	0	400	70	4,050	400	10	0	0	300	0	10	4,060		
吉村芳生展	22.10.27~ 12.12(41)	900	26,319	700	4,503	700	358	31,180	700	93	500	75	500	38	206	31,386		
第63回学校美 術展覧会	23.1.25~ 1.30(5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
県大卒業制作展	23.2.2~ 2.6(5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
芸短卒業制作展	23.2.10~ 2.13(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
山大卒業制作展	23.2.17~ 2.20(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
香月泰男 -追憶のシベリア-	23.3.2~ 5.8(26)	600	1,402	500	375	500	67	1,844	500	64	400	0	400	0	64	1,908		
合計			38,338		4,878		750	43,966		248		75		160	483	44,449		

無 料											合 計
小・中生	高校生	18才以下のその他	招待券ポスター	案内状	老人(70以上)	計人数	教育・文化週間及び無料展覧会		その他	小計	
							一般	学生			
1,217	275	136	1	0	2,280	338			686	4,933	11,651
32		9	340	36	281	33			134	865	1,268
3,312	695	1,375	6,574	120	0	1,298			226	13,600	40,759
171	44	77	596	1	1,455	221			210	2,775	6,102
1,355	131	451	3,389	223	0	597			247	6,393	19,167
1,017	55	645	0	0	181	11			2,947	4,856	4,856
185	28	6	18	0	30	0			412	679	679
82	11	8	19	4	36	3			480	643	643
305	72	8	4	5	0	33			16	443	443
7,676	1,311	2,715	10,941	389	4,263	2,534	0	0	5,358	35,187	85,568

無 料											合 計
小・中生	高校生	18才以下のその他	招待券ポスター	案内状	老人(70以上)	計人数	教育・文化週間及び無料展覧会		その他	小計	
							一般	学生			
2,773	321	500	1	0	6,643	897	2,210	5	903	14,253	20,809
23	2	29	289	134	247	33	0	0	35	792	1,331
197	36	98	713	119	1,353	228	0	0	66	2,810	6,870
3,670	524	1,345	4,416	465		1,329	0	0	307	12,056	43,442
1,251	54	0	0	0	151	3	0	0	2,361	3,820	3,820
6	0	0	0	0	17	0	0	0	616	639	639
22	2	2	0	0	19	1	0	0	503	549	549
13	0	8	0	0	9	4	0	0	552	586	586
133	21	26	383	18	0	127	0	0	76	784	2,692
8,088	960	2,008	5,802	736	8,439	2,622	2,210	5	5,419	36,289	80,738

組織等

美術品収集審査委員

浦上敏郎	山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長
奥平俊六	大阪大学文学部教授
奥津聖	山口大学名誉教授
菊屋吉生	山口大学教育学部教授
森川紘一郎	元周南市美術博物館館長

美術館職員構成

館長	松原 清
副館長(事)	杉原 敏雄
副館長(事)	安井雄一郎

総務課

課長(事)	平尾 賢二
主任(事)	内 宏文
主任主事(事)	西野真由美

学芸課

課長(事)	斎藤 郁夫
主任(事)	荏開津通彦
主任(事)	岩井 共二

普及課

課長(事)	河野 通孝
主任(事)	前田 淳子

(以上21年度)

館長	松原 清
副館長(事)	盛田 隆
学芸専門監(事)	斎藤 郁夫

総務課

課長(事)	平尾 賢二
主任(事)	中繁 尊範
主任主事(事)	西野真由美

学芸課

課長(事)	河野 通孝
主任(事)	荏開津通彦
主任(事)	岩井 共二
(事)	萬屋 健司

普及課

課長(事)	前田 淳子
(事)	岡本 麻美

(以上22年度)

職員の動静

21.3

総務課長 山本一夫、下松高等学校事務長に転出

21.4

労働政策課主査 平尾賢二、総務課長に転入

21.10

学芸課学芸員、萬屋健司、新規採用（大阪大学大学院博士後期課程）
普及課学芸員、岡本麻美、新規採用（学習院大学大学院博士後期課程）

22.3

副館長 杉原敏雄、山口県を定年退職
副館長 安井雄一郎、山口県を定年退職

22.4

教育政策課調整官 盛田隆、副館長に転入
周南県税事務所主任主事 中繁尊範、総務課主任に転入
学芸課長 斎藤郁夫、学芸専門監に昇任
普及課長 河野通孝、学芸課長に転入
普及課主任 前田淳子、普及課長に昇任

23.3

館長 松原清、退任
副館長 盛田隆、やまぐち総合教育支援センター次長に転出
総務課長 平尾賢二、宇部工業高等学校事務長に転出
総務課主任 中繁尊範、会計課主任に転出
総務課主任主事 西野真由美、給与厚生課主任主事に転出

発 行 山口県立美術館
山口市亀山町3-1
Tel 083-925-7788 (代表)
Fax 083-925-7790 (総務課)
Fax 083-925-7784 (学芸・普及課)

発行日 平成24年3月31日

印 刷 株式会社マルニ
Tel 083-925-1111

